

**第5期江差町地域福祉計画策定に向けた
アンケート調査報告書**

**令和3年11月
江差町**

目 次

I	調査の概要	- 1 -
1	調査の目的	- 2 -
2	調査対象・配付・回収等	- 2 -
3	留意点	- 2 -
II	調査結果	- 3 -
1	回答者の属性	- 4 -
2	地域での生活について	- 12 -
3	地域活動・ボランティア活動について	- 28 -
4	災害時の対応について	- 34 -
5	権利擁護について	- 38 -
6	ヤングケアラーについて	- 40 -
7	民生委員・児童委員、社会福祉協議会について	- 42 -
8	地域福祉の今後の取組について	- 48 -
III	調査結果からみた江差町の現状と課題	- 59 -
1	江差町に対する愛着度	- 60 -
2	江差町における問題点、不足していると思うもの	- 61 -
3	江差町からの福祉や健康に関する情報発信	- 62 -
4	地域での活動・ボランティア活動への参加状況・今後の意向	- 64 -
5	福祉に関わる制度等の認知度について	- 66 -
6	地域福祉の今後の取組について	- 67 -
IV	調査票	- 69 -

I 調査の概要

1 調査の目的

- 本調査は、令和4年度～令和8年度を期間とする「第5期江差町地域福祉計画」策定の基礎資料として、本町の地域福祉を取り巻く現状や課題を把握することを目的に令和3年8月に実施したものです。

2 調査対象・配付・回収等

調査対象	町内にお住いの20歳以上の町民(無作為抽出)
調査数	1,500票
回収数・率	583票(38.8%)

3 留意点

- 設問のなかには前問に答えた人のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答者数が全体より少なくなっています。
- 設問には1つのみ答える単数回答(SA)と、複数回答(MA)があり、複数回答の設問では表記の割合の合計が100%を超えます。
- 図表中のn(number of cases)は、回答者数を表します。
- 図表中の割合は、選択肢ごとにnを基数とした百分率で表し、小数第二位で四捨五入しているため、その割合の合計と一致しない場合があります。
- グラフ中の複数回答における無回答について省略している場合があります。
- その他意見については、具体的な記述があったうち、代表的なものをまとめています。
- 各設問の選択肢等について、意味を損なわない範囲で表現を簡略化している場合があります。

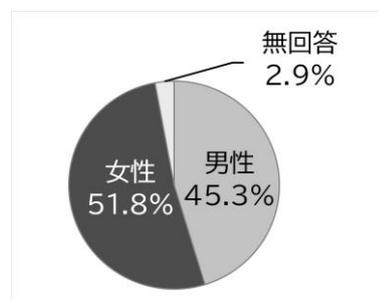
II 調査結果

1 回答者の属性

問1 あなたの性別についてお答えください。【SA】

- 回答者の男女比はほぼ同程度となっています。

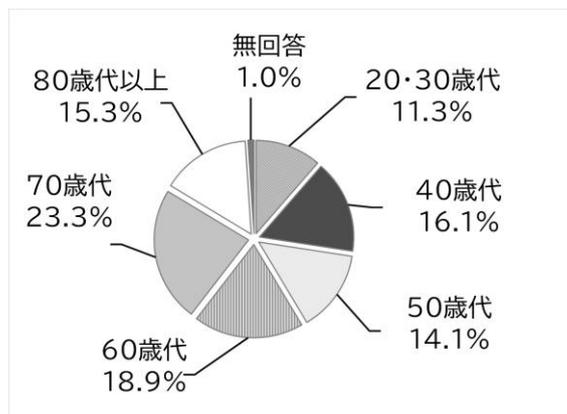
No.		数	割合
1	男性	264	45.3%
2	女性	302	51.8%
	無回答	17	2.9%
	回答者数	583	100.0%



問2 あなたの年齢についてお答えください。【SA】

- 回答者の約4割が70歳代以上となっています。

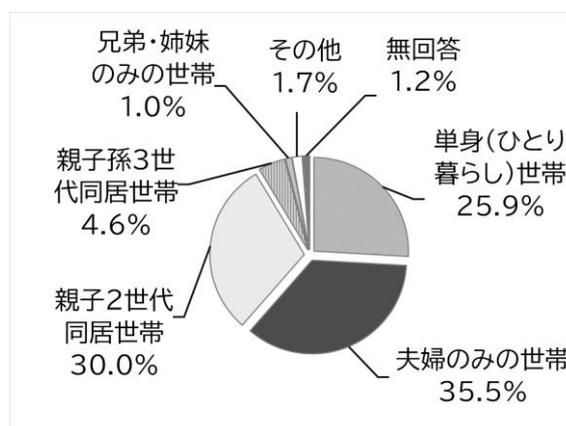
No.		数	割合
1	20・30歳代	66	11.3%
2	40歳代	94	16.1%
3	50歳代	82	14.1%
4	60歳代	110	18.9%
5	70歳代	136	23.3%
6	80歳代以上	89	15.3%
	無回答	6	1.0%
	回答者数	583	100.0%



問3 あなたの家族構成はどのようになっていますか。【SA】

- 回答者の約4分の1が「単身（ひとり暮らし）世帯」となっています。

No.		数	割合
1	単身(ひとり暮らし)世帯	151	25.9%
2	夫婦のみの世帯	207	35.5%
3	親子2世代同居世帯	175	30.0%
4	親子孫3世代同居世帯	27	4.6%
5	兄弟・姉妹のみの世帯	6	1.0%
6	その他	10	1.7%
	無回答	7	1.2%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

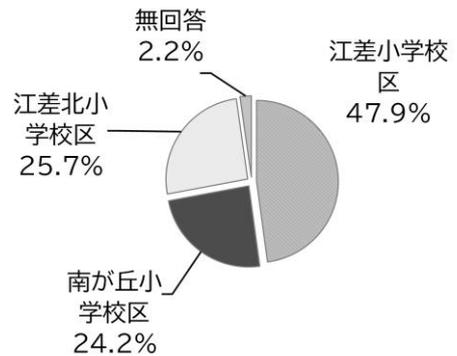
- 年代別に最も高い項目をみると、40歳代以下では「親子2世代同居世帯」、50歳代以上は「夫婦のみの世帯」となっています。
- 「単身（ひとり暮らし）世帯」と回答した割合は、20・30歳代と80歳以上では3割を超えています。他の年代では2割程度となっています。

	回答者数	単身（ひとり暮らし）世帯	夫婦のみの世帯	親子2世代同居世帯	親子孫3世代同居世帯	兄弟・姉妹のみの世帯	その他	無回答
全体	583	25.9%	35.5%	30.0%	4.6%	1.0%	1.7%	1.2%
20・30歳代	66	34.8%	10.6%	45.5%	3.0%	1.5%	4.5%	0.0%
40歳代	94	20.2%	19.1%	47.9%	7.4%	2.1%	2.1%	1.1%
50歳代	82	26.8%	37.8%	32.9%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代	110	24.5%	37.3%	27.3%	8.2%	0.9%	1.8%	0.0%
70歳代	136	22.8%	52.9%	19.1%	2.9%	1.5%	0.7%	0.0%
80歳以上	89	32.6%	42.7%	19.1%	3.4%	0.0%	2.2%	0.0%

問4 あなたがお住まいの地区（小学校区）を教えてください。【SA】

- 回答者の約5割が「江差小学校区」にお住まいです。

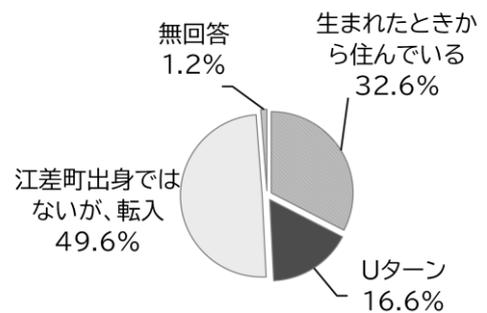
No.		数	割合
1	江差小学校区	279	47.9%
2	南が丘小学校区	141	24.2%
3	江差北小学校区	150	25.7%
	無回答	13	2.2%
	回答者数	583	100.0%



問5 あなたは、江差町に住み始めて何年になりますか。【SA】

- 回答者の約5割が「江差町出身ではないが、転入」と回答しています。

No.		数	割合
1	生まれたときから住んでいる	190	32.6%
2	Uターンして住んでいる	97	16.6%
3	江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	49.6%
	無回答	7	1.2%
	回答者数	583	100.0%

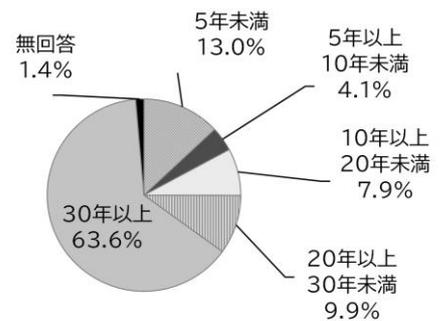


- Uターンしてから、転入してからの年数は次のとおりです。

No.		Uターンしてからの年数		転入してからの年数	
		数	割合	数	割合
1	5年未満	12	12.4%	64	22.1%
2	5年以上10年未満	7	7.2%	17	5.9%
3	10年以上20年未満	10	10.3%	36	12.5%
4	20年以上30年未満	23	23.7%	29	10.0%
5	30年以上	42	43.3%	139	48.1%
	無回答	3	3.1%	4	1.4%
	回答者数	97	100.0%	289	100.0%

- 問2及び問5の回答から、居住年数を再集計した結果は次のとおりです。30年以上の方が約6割を占めています。

No.		数	割合
1	5年未満	76	13.0%
2	5年以上10年未満	24	4.1%
3	10年以上20年未満	46	7.9%
4	20年以上30年未満	58	9.9%
5	30年以上	371	63.6%
	無回答(問2または問5から判別できなかったもの)	8	1.4%
	回答者数	583	100.0%



問6 現在、あなたが買い物をする際の手段は何ですか。【MA】

①年代別結果

- 年代別にみると、最も高い割合となっている項目は、70歳代以下では「自動車（自分で運転）で店に行く」、80歳以上では「徒歩で店に行く」となっており、80歳を超えると自ら運転することを辞める（控える）傾向がみられます。
- 20・30歳代の約5割、40・50歳代の約3割、60歳代の約2割、70歳代の約1割が「通信販売（インターネット等）を利用」と回答しています。また、いずれの年齢層も1～2割が「宅配サービスを利用」と回答しています。外出を伴わない買い物手段として、通信販売（インターネット等）が若い住民を中心に普及してきている一方、宅配サービスは年齢ごとのニーズに大きな差はみられません。

	回答者数	徒歩で 店に行く	自転車 で 店に行く	バイク で 店に行く	自動車 （自分で運転） で店に行く	自動車（人に乗 せてもらう） で 店に行く	路線バス で 店に行く
全体	583	35.7%	3.3%	0.7%	72.9%	18.9%	7.0%
20・30歳代	66	34.8%	1.5%	1.5%	93.9%	13.6%	0.0%
40歳代	94	33.0%	7.4%	1.1%	88.3%	12.8%	5.3%
50歳代	82	30.5%	3.7%	1.2%	89.0%	11.0%	1.2%
60歳代	110	31.8%	1.8%	0.9%	75.5%	18.2%	7.3%
70歳代	136	37.5%	0.7%	0.0%	66.9%	21.3%	8.8%
80歳以上	89	46.1%	5.6%	0.0%	33.7%	33.7%	16.9%

	回答者数	タクシー で 店に行く	買い物代 行 サービス を利用	通信販売（イン ターネット等） を利用	宅配サー ビス を利用	移動販売 を 利用	その他	無回 答
全体	583	1.7%	0.9%	24.4%	17.2%	1.5%	2.6%	0.5%
20・30歳代	66	0.0%	0.0%	48.5%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	94	0.0%	1.1%	35.1%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代	82	0.0%	0.0%	30.5%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代	110	0.9%	0.0%	22.7%	23.6%	2.7%	0.9%	0.9%
70歳代	136	2.9%	1.5%	14.7%	14.0%	2.9%	2.9%	0.0%
80歳以上	89	5.6%	2.2%	5.6%	18.0%	2.2%	11.2%	0.0%

②地区別結果

- 地区別にみると、最も高い割合となっている項目はいずれも「自動車（自分で運転）で店に行く」となっています。特に北部地域（江差北小学校区）では、自動車利用の割合が高くみられます。

	回答者数	徒歩で 店に行く	自転車 で 店に行く	バイク で 店に行く	自動車 （自分で運転） で店に行く	自動車（人に乗せて もらう） で店に行く	路線バス で 店に行く
全体	583	35.7%	3.3%	0.7%	72.9%	18.9%	7.0%
江差小学校区	279	50.5%	2.5%	0.7%	69.9%	21.1%	5.0%
南が丘小学校区	141	24.1%	6.4%	0.7%	70.9%	15.6%	14.2%
江差北小学校区	150	18.7%	1.3%	0.7%	82.7%	18.0%	4.7%

	回答者数	タクシー で 店に行く	買い物代 行 サービス を利用	通信販売（インター ネット等） を利用	宅配サービス を利用	移動販売 を 利用	その他	無回答
全体	583	1.7%	0.9%	24.4%	17.2%	1.5%	2.6%	0.5%
江差小学校区	279	1.8%	0.7%	26.2%	15.4%	1.1%	2.5%	0.0%
南が丘小学校区	141	2.8%	1.4%	23.4%	16.3%	0.7%	2.1%	0.7%
江差北小学校区	150	0.7%	0.7%	22.0%	22.0%	3.3%	3.3%	0.0%

問7 あなたは買い物をする際、理想としてはどのような手段を利用したいですか。【MA】

①年代別結果

- 年代別にみると、最も高い割合となっている項目は、70歳代以下では「自動車（自分で運転）で店に行く」、80歳以上では「徒歩で店に行く」となっています。
- 20～50歳代の約3割、60歳代の約2割、70歳代の約1割が「通信販売（インターネット等）を利用」と回答しています。また、20～40歳代の約1割、50・70歳代の約2割、60歳代・80歳以上の約3割が「宅配サービスを利用」と回答しています。

	回答者数	徒歩で店に行く	自転車で行く	バイクで行く	自動車（自分で運転）で店に行く	自動車（人に乗せてもらう）で店に行く	路線バスで店に行く
全体	583	48.0%	6.2%	0.7%	62.8%	15.1%	9.1%
20・30歳代	66	54.5%	7.6%	1.5%	80.3%	7.6%	1.5%
40歳代	94	52.1%	14.9%	0.0%	71.3%	9.6%	5.3%
50歳代	82	54.9%	8.5%	2.4%	70.7%	8.5%	3.7%
60歳代	110	41.8%	3.6%	0.9%	70.9%	14.5%	10.9%
70歳代	136	41.9%	2.9%	0.0%	57.4%	16.9%	11.0%
80歳以上	89	49.4%	2.2%	0.0%	32.6%	30.3%	19.1%

	回答者数	タクシード店に行く	買い物代行サービスを利用	通信販売（インターネット等）を利用	宅配サービスを利用	移動販売を利用	その他	無回答
全体	583	2.9%	5.5%	20.8%	23.3%	7.9%	1.2%	1.4%
20・30歳代	66	0.0%	1.5%	33.3%	12.1%	1.5%	0.0%	0.0%
40歳代	94	1.1%	2.1%	33.0%	14.9%	3.2%	0.0%	0.0%
50歳代	82	2.4%	1.2%	28.0%	23.2%	4.9%	1.2%	0.0%
60歳代	110	3.6%	3.6%	21.8%	30.9%	8.2%	0.0%	0.9%
70歳代	136	4.4%	8.8%	8.8%	25.0%	11.8%	1.5%	2.2%
80歳以上	89	4.5%	13.5%	7.9%	29.2%	14.6%	4.5%	2.2%

②地区別結果

- 地区別にみると、最も高い割合となっている項目はいずれも「自動車（自分で運転）で店に行く」となっています。

	回答者数	徒歩で 店に行く	自転車 で 店に行く	バイク で 店に行く	自動車 (自分で運転) で店に行く	自動車(人に乗 せてもらう)で 店に行く	路線バスで 店に行く
全体	583	48.0%	6.2%	0.7%	62.8%	15.1%	9.1%
江差小学校区	279	54.5%	4.3%	0.7%	62.0%	15.8%	8.6%
南が丘小学校区	141	44.0%	9.2%	0.7%	62.4%	15.6%	14.9%
江差北小学校区	150	40.7%	6.7%	0.7%	66.7%	13.3%	5.3%

	回答者数	タクシー で 店に行く	買い物代行 サービス を利用	通信販売(イ ンターネッ ト等)を利用	宅配サービ スを利用	移動販売を 利用	その他	無回答
全体	583	2.9%	5.5%	20.8%	23.3%	7.9%	1.2%	1.4%
江差小学校区	279	2.5%	4.7%	22.9%	19.4%	4.7%	1.4%	0.7%
南が丘小学校区	141	4.3%	6.4%	22.0%	24.1%	8.5%	0.7%	1.4%
江差北小学校区	150	2.7%	6.7%	15.3%	30.7%	13.3%	1.3%	0.7%

③問6（現在の手段）・問7（理想の手段）結果の比較

- 現在の手段と理想の手段を比較すると、理想では「自動車（自分で運転）で店に行く」割合が低下し、「徒歩で店に行く」割合が高くなっています。

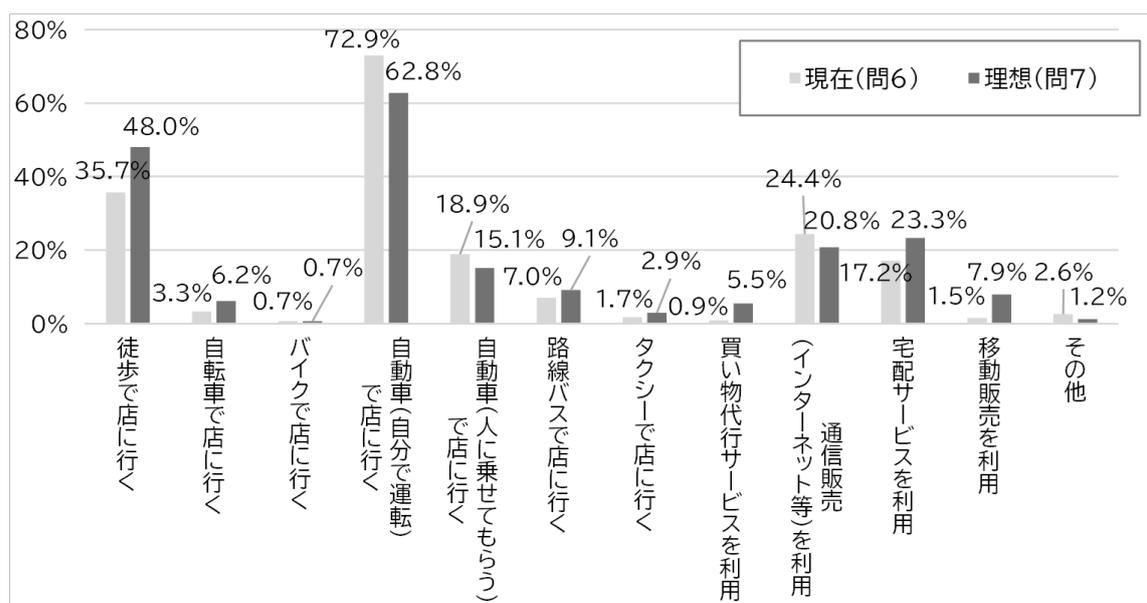
No.		現在	理想
1	徒歩で店に行く	35.7%	48.0%
2	自転車で店に行く	3.3%	6.2%
3	バイクで店に行く	0.7%	0.7%
4	自動車(自分で運転)で店に行く	72.9%	62.8%
5	自動車(人に乗せてもらう)で店に行く	18.9%	15.1%
6	路線バスで店に行く	7.0%	9.1%
7	タクシーで店に行く	1.7%	2.9%
8	買い物代行サービスを利用	0.9%	5.5%
9	通信販売(インターネット等)を利用	24.4%	20.8%
10	宅配サービスを利用	17.2%	23.3%
11	移動販売を利用	1.5%	7.9%
12	その他	2.6%	1.2%
	無回答	0.5%	1.4%
	回答者数	583	583

【問6 その他一例】

- ・施設職員
- ・近くに住んでいる家族に頼む

【問7 その他一例】

- ・店がバスを出してくれるとうれしい

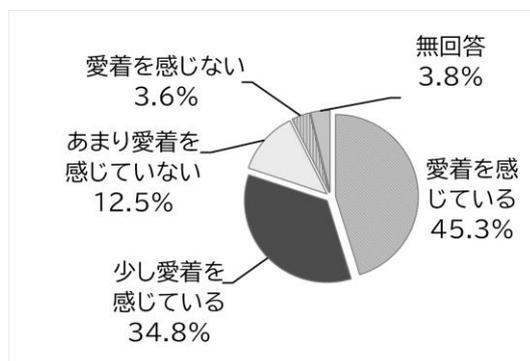


2 地域での生活について

問8 あなたは、江差町にどの程度愛着をお持ちですか。【SA】

- 「愛着を感じている」(45.3%)、「少し愛着を感じている」(34.8%)となっており、あわせると約8割が何かしら愛着を持っています。

No.		数	割合
1	愛着を感じている	264	45.3%
2	少し愛着を感じている	203	34.8%
3	あまり愛着を感じていない	73	12.5%
4	愛着を感じない	21	3.6%
	無回答	22	3.8%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 最も高い割合をみると、60歳代以上では「愛着を感じている」、50歳代以下では「少し愛着を感じている」となっており、現状では、60歳を境として地域への愛着が深くなっている傾向がみられます。

	回答者数	愛着を感じている	少し愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じない	無回答
全体	583	45.3%	34.8%	12.5%	3.6%	3.8%
20・30歳代	66	21.2%	48.5%	19.7%	9.1%	1.5%
40歳代	94	35.1%	40.4%	17.0%	4.3%	3.2%
50歳代	82	32.9%	39.0%	22.0%	4.9%	1.2%
60歳代	110	44.5%	38.2%	10.9%	1.8%	4.5%
70歳代	136	61.8%	25.0%	8.1%	0.7%	4.4%
80歳以上	89	62.9%	28.1%	3.4%	3.4%	2.2%

②地区別結果

- 最も高い割合をみると、「江差小学校区」・「江差北小学校区」では「愛着を感じている」、南が丘小学校区では「少し愛着を感じている」となっており、他地区に比べ南が丘小学校区の地域への愛着がやや少ない傾向がみられます。

	回答者数	愛着を感じている	少し愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じない	無回答
全体	583	45.3%	34.8%	12.5%	3.6%	3.8%
江差小学校区	279	53.0%	32.3%	10.8%	2.2%	1.8%
南が丘小学校区	141	32.6%	42.6%	15.6%	3.5%	5.7%
江差北小学校区	150	42.7%	34.0%	14.0%	6.0%	3.3%

③居住（江差町に住み始めるきっかけ）別結果

- 最も高い割合をみると、「生まれたときから住んでいる」・「Uターン」では「愛着を感じている」、「江差町出身ではないが、転入」では「少し愛着を感じている」となっています。全体として、転入者の地域への愛着がやや少ない傾向がみられます。

	回答者数	愛着を感じている	少し愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じない	無回答
全体	583	45.3%	34.8%	12.5%	3.6%	3.8%
生まれたときから住んでいる	190	62.6%	25.8%	7.4%	1.1%	3.2%
Uターンして住んでいる	97	45.4%	33.0%	14.4%	6.2%	1.0%
江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	34.9%	41.9%	15.6%	4.5%	3.1%

④居住年数別結果

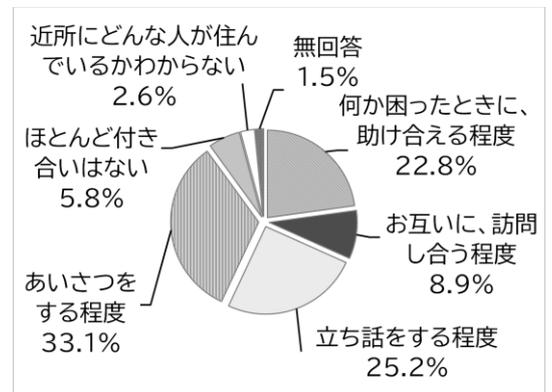
- 最も高い割合をみると、30年以上では「愛着を感じている」、30年未満では「少し愛着を感じている」となっています。また、「愛着を感じている」・「少し愛着を感じている」をあわせると、5年未満では約6割、5年以上では7～8割と差がみられます。

	回答者数	愛着を感じている	少し愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じない	無回答
全体	583	45.3%	34.8%	12.5%	3.6%	3.8%
5年未満	76	19.7%	44.7%	25.0%	9.2%	1.3%
5年以上10年未満	24	20.8%	58.3%	8.3%	12.5%	0.0%
10年以上20年未満	46	37.0%	39.1%	21.7%	0.0%	2.2%
20年以上30年未満	58	31.0%	48.3%	10.3%	3.4%	6.9%
30年以上	371	56.3%	29.1%	9.7%	2.2%	2.7%

問9 あなたは、近所とのお付き合いをどの程度していますか。【SA】

- 「あいさつする程度」(33.1%) が最も高く、「立ち話をする程度」(25.2%)、「何か困ったときに、助け合える程度」(22.8%) と続きます。

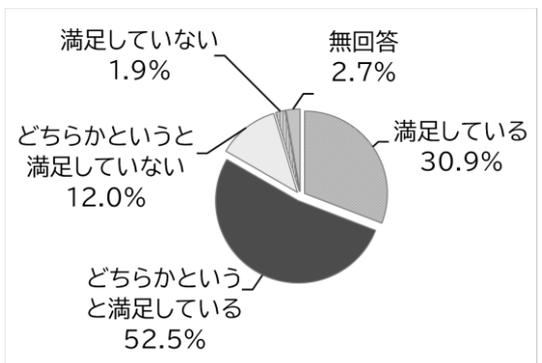
No.		数	割合
1	何か困ったときに、助け合える程度	133	22.8%
2	お互いに、訪問し合う程度	52	8.9%
3	立ち話をする程度	147	25.2%
4	あいさつをする程度	193	33.1%
5	ほとんど付き合いはない	34	5.8%
6	近所にどんな人が住んでいるかわからない	15	2.6%
	無回答	9	1.5%
	回答者数	583	100.0%



問10 あなたは、現在の近所とのお付き合いに満足されていますか。【SA】

- 「満足していない」(1.9%)、「どちらかという満足していない」(12.0%) となっており、あわせると約1割が満足していないと回答しています。

No.		数	割合
1	満足している	180	30.9%
2	どちらかという満足している	306	52.5%
3	どちらかという満足していない	70	12.0%
4	満足していない	11	1.9%
	無回答	16	2.7%
	回答者数	583	100.0%



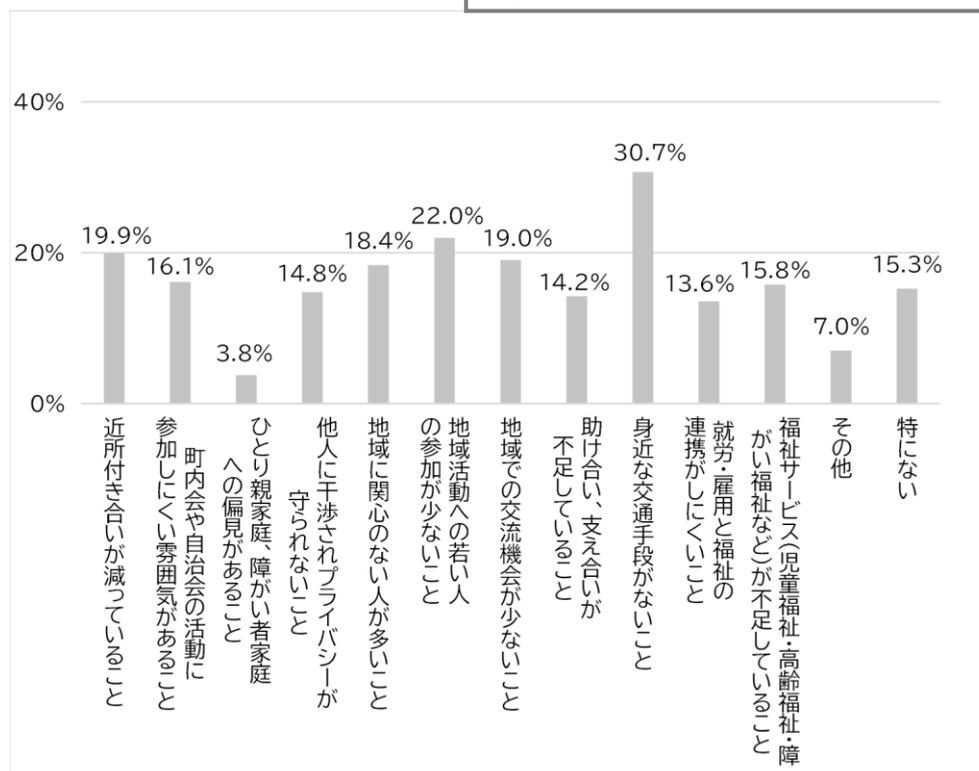
問 11 現在、江差町における問題点、不足していると思うものは何ですか。【MA】

- 現在の江差町における問題点、不足していることとして、3割の方が「身近な交通手段がないこと」を選択していますが、「地域活動への若い人の参加が少ないこと」、「近所付き合いが減っていること」、「地域での交流機会が少ないこと」、「地域に関心のない人が多いこと」など、地域の関係性の希薄化をあげている人が、それぞれ2割います。

No.		数	割合
1	近所付き合いが減っていること	116	19.9%
2	町内会や自治会の活動に参加しにくい雰囲気があること	94	16.1%
3	ひとり親家庭、障がい者家庭への偏見があること	22	3.8%
4	他人に干渉されプライバシーが守られないこと	86	14.8%
5	地域に関心のない人が多いこと	107	18.4%
6	地域活動への若い人の参加が少ないこと	128	22.0%
7	地域での交流機会が少ないこと	111	19.0%
8	助け合い、支え合いが不足していること	83	14.2%
9	身近な交通手段がないこと	179	30.7%
10	就労・雇用と福祉の連携がしにくいこと	79	13.6%
11	福祉サービス(児童福祉・高齢福祉・障がい福祉など)が不足していること	92	15.8%
12	その他	41	7.0%
13	特になし	89	15.3%
	無回答	37	6.3%
	回答者数	583	-

【その他一例】

- ・商業施設・娯楽施設が少ない
- ・病院が少ない
- ・子どもの遊び場が少ない
- ・働く場所が少ない



①年代別結果

- 年代別にみると、最も高い割合となっている項目が、60歳代以下では「身近な交通手段がないこと」、70歳代以上では「近所付き合いが減っていること」となっています。
- 「近所付き合いが減っていること」、「他人に干渉されプライバシーが守られないこと」の回答については、50歳代以下、60歳代以上の層で相反する傾向がみられました。50歳以下では約2割が「他人に干渉されプライバシーが守られないこと」を回答している一方で「近所付き合いが減っていること」は1割に達していません。60歳以上では2～3割が「近所付き合いが減っていること」を回答している一方で「他人に干渉されプライバシーが守られないこと」が1割程度となっています。

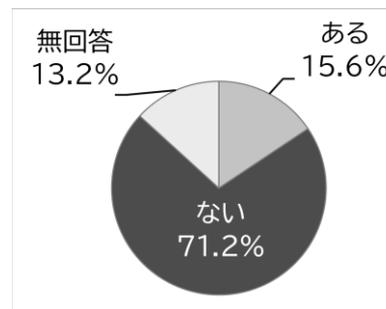
	回答者数	近所付き合いが減っていること	町内会や自治会の活動に参加しにくい雰囲気があること	ひとり親家庭、障がい者家庭への偏見があること	他人に干渉されプライバシーが守られないこと	地域に関心のない人が多いこと	地域活動への若い人の参加が少ないこと	地域での交流機会が少ないこと
全体	583	19.9%	16.1%	3.8%	14.8%	18.4%	22.0%	19.0%
20・30歳代	66	6.1%	13.6%	4.5%	25.8%	10.6%	7.6%	18.2%
40歳代	94	6.4%	16.0%	7.4%	18.1%	13.8%	23.4%	14.9%
50歳代	82	8.5%	18.3%	1.2%	22.0%	18.3%	19.5%	17.1%
60歳代	110	24.5%	20.0%	4.5%	9.1%	20.0%	25.5%	20.0%
70歳代	136	30.9%	14.7%	2.2%	9.6%	19.1%	30.1%	18.4%
80歳以上	89	32.6%	13.5%	3.4%	12.4%	24.7%	18.0%	25.8%

	回答者数	助け合い、支え合いが不足していること	身近な交通手段がないこと	就労・雇用と福祉の連携がしにくいこと	福祉サービス（児童福祉・高齢福祉・障がい福祉など）が不足していること	その他	特になし	無回答
全体	583	14.2%	30.7%	13.6%	15.8%	7.0%	15.3%	6.3%
20・30歳代	66	9.1%	39.4%	18.2%	19.7%	9.1%	21.2%	4.5%
40歳代	94	12.8%	35.1%	22.3%	16.0%	14.9%	18.1%	3.2%
50歳代	82	9.8%	37.8%	13.4%	11.0%	9.8%	14.6%	3.7%
60歳代	110	16.4%	30.0%	20.0%	18.2%	7.3%	10.0%	8.2%
70歳代	136	14.0%	22.1%	5.1%	9.6%	1.5%	16.2%	5.9%
80歳以上	89	21.3%	28.1%	6.7%	24.7%	3.4%	14.6%	7.9%

問 12 あなたは日常生活の中で困りごとはありませんか。

- 約1割が「ある」と回答しています。

No.		数	割合
1	ある	91	15.6%
2	ない	415	71.2%
	無回答	77	13.2%
	回答者数	583	100.0%



問 12-1 困っていると感じていることについて、差し支えのない範囲でお書きください。

※問 12-1 は、問 12 で「1. ある」と回答した方対象

- 記入のあった内容の主なものとしては、「通勤・通学や買い物等の環境や移動手段に関する事」、「子どもの遊び場に関する事」、「地域の人との関係性・交流に関する事」、「医療・福祉環境に関する事」、「経済的な問題や公共料金などに関する事」、「自分・家族にかかわることや将来への不安」、「道路や生活環境に関する事」などがみられました。以下、代表的な意見を掲載しています。

① 通勤・通学・買い物等の周辺環境や移動手段に関する事

- ◆ 高校卒業後、地元就職が難しい。
- ◆ 働き口がない。
- ◆ 銀行の種類が少ない。
- ◆ 高齢のため商店が遠い。コンビニも近くにない。
- ◆ 電器店がない（大型）、病院が少ない。
- ◆ 近くで食料品等、生活必需品を手に入れることが難しくなることが十分に予想されること（今でも近くにないものがたくさんあります）。
- ◆ 今は自分で車を運転しますが、もし運転ができなくなったら、交通手段に不安がある。
- ◆ 住む町内にバス停がない。
- ◆ 店が遠いので歩くのが大変。消防サイレンの放送が聞こえない。
- ◆ デリバリーしてくれる店がない。
- ◆ 娯楽が少なく、休日でも引きこもりがちになってしまう。
- ◆ 高齢者の運転が増えているため、制限速度以下で走行するため運転時イライラすることがある。
- ◆ もう少し、路線バスの走る本数を多くしてほしい。
- ◆ 交通手段の不足。店が少なくなった。病院に通いづらい。
- ◆ 買い物、移動販売を利用したい。
- ◆ お店が21時には、ほとんど閉まっていること。車がないと暮らしづらいこと。

- ◆ 子どもが自力で買い物ができない（近所に店がない）。町内移動を親の車に頼るため、自立に不安がある。バスを気軽に利用できるが良い（福祉バスの定期便などを子どもも利用できるような交通手段）。
- ◆ 小さなものが必要なとき、遠い大型店まで行きにくい。路線バスが午後の便がなくて不便。インターネットを利用していないので、情報が得にくい。
- ◆ 家電を買う店がほとんどないこと。妻が参加できる文化、スポーツサークルがない。例：ヨガ、水泳、等。

② 子どもの遊び場に関すること

- ◆ 子ども達を安全に遊ばせられるところがない。雨が降ると家以外、どこにも連れて遊べる場所がない。
- ◆ 雨の日でも子どもを連れて遊びに行ける施設がほしいです（児童センターのような場所）。
- ◆ 子ども達の遊び場が少ない。気軽に使える体育館やプールなど。お友達と自転車で行けるような距離にプールがないので、厚沢部のプールに連れて行っています。
- ◆ 公園が少ない（遊具等）。
- ◆ 0歳から保育料が無料になればいいなと思う。子どもの遊び場・楽しめる場所。

③ 地域の人との関係性・交流に関すること

- ◆ 新聞等の内容を話し合える、または確認する人がいない。
- ◆ 近所との交流がないため、他人の困っていることが分らない。助け合いも一部の人（仲良しだけ）だけで、みんな助け合ってほしいです。
- ◆ 自分が、身体が動けないため、近所付き合いができないためです。町内会や自治会への参加が残念になったので、ただそれだけです。自分の町内会の人達は相変わらず良い人達です。
- ◆ 同じアパートの住人が大家さんから言われている決まりやルールを守ってくれません。ゴミを燃える、燃えないに分別せずに出したり、共同玄関の戸を閉めないなど、子どもでもできるような基本的なことができず、困っているというか、あきれています。
- ◆ 友達、近所に頼めない。書類などに印を押すとき、身内がないので悩みの種である。

④ 医療・福祉環境に関すること

- ◆ 病院が少ない。道立しか選択肢がない。道立もっとしっかりしてほしい。
- ◆ 医療（子育てにおいて、道立病院の診療が午前中のみのため、緊急で何かあったときに不安）。
- ◆ 病院に通院したいが、受診したいときに行けない。
- ◆ 共働きで両方とも土、日、祝日関係ない仕事をしているのだが、子ども（園児）を預けられるところがない。簡単に休みをくれる会社ではないので、預けられるところがないと困る。
- ◆ 眼科、耳鼻科等、町外に出なければならない。
- ◆ 専門医（かかりつけ）がない。函館まで行かないといけない。子どもが安全に楽しく遊べる場が少ない（特に屋内）。
- ◆ 病院の各科が常がない。先生の異動が早すぎる（道立病院）。
- ◆ 総合病院がないこと。ほとんどの人が函館に行っていると聞きます。

⑤ 経済的な問題や公共料金などに関すること

- ◆ 税金が他町より高いこと。
- ◆ 水道料が高すぎる。障害者なのに障がい者年金が出ないこと。保護のことで、生活保護の金額が減ったので生活がきついこと。
- ◆ 生活費（可処分所得）の低下（社会保障費負担増）。
- ◆ 町営住宅なのに、何かと自己負担なのは納得できない。
- ◆ 水道代が高過ぎる（上下水道合わせると夫婦二人暮らし、それ程多量に水を使っていると思えないが、月平均8,000円以上かかっている。子ども達が年に一度来て、一週間程滞在した月は13,000円とハネ上がる。無駄遣いはしていないと思うのですが…。電気・ガス・水道はライフラインですよ。それらが高くては困ります。）。

⑥ 自分・家族にかかわることや将来への不安

- ◆ 足をケガしてから歩けなくなっている。
- ◆ 生活の中で病気などの不安、医療の不安。
- ◆ 困っていることではないですが、介護のことや自分の健康のことなどで、将来に不安はあります。
- ◆ 親戚等が少ないこと。知人、友人が少ないこと。
- ◆ 今は、特にありませんが、この先、高齢になります。困ることは出ると思います。
- ◆ 家族の介護について。

⑦ 道路や生活環境に関すること

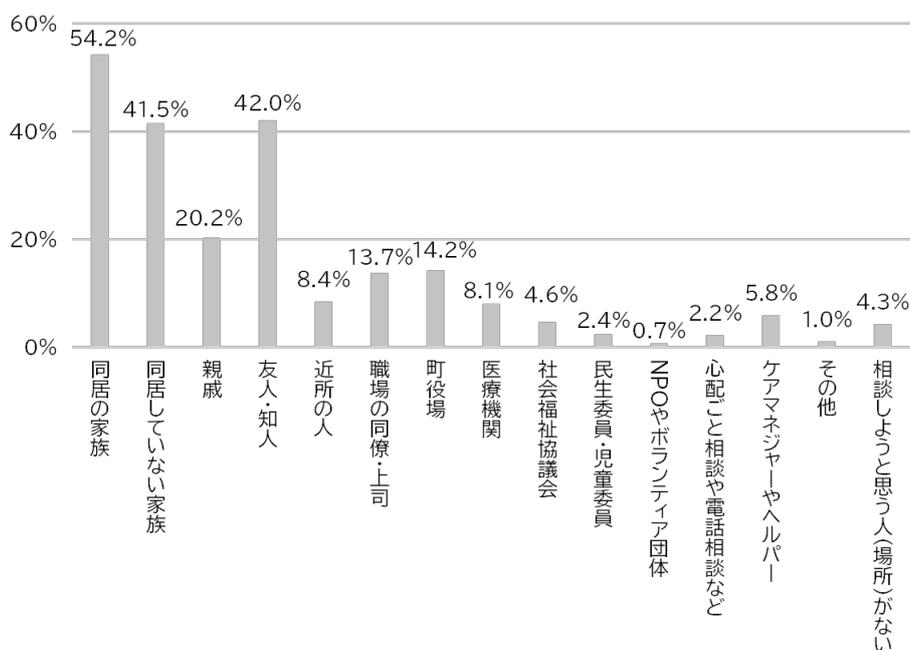
- ◆ 冬期間の除雪や排雪。
- ◆ 熊が出る。
- ◆ 虫が多いこと。
- ◆ 道路側溝からの悪臭、生ゴミの投棄によるハエ等の発生。違法駐車等による危険の増大。災害避難路の不整備。
- ◆ 住宅設備（水道等）。江差病院までの交通費の負担。水道料が高額すぎる。
- ◆ 下水道のにおいが非常に不快。
- ◆ 雨が降ると排水が悪く、家の前が池のようになる。冬になると、小黒部～中網の道路の吹き溜まりがひどいので、除雪の回数を増やしてほしい。町立の体育館がない。
- ◆ 道路から家までの道のりが暗くて、夜は歩けない。街灯がない。両サイド、山に囲まれた道なので熊でも出てきそう。
- ◆ 団地内で奇声や騒音、ケンカをしている声が昼夜問わず聞こえ、気味が悪いし、寝不足で精神的におかしくなりそう。子ども達もストーカーにあったりしているので、不安。
- ◆ 単身のため、公営住宅に入居できない。

問 13 あなたは日常生活の不安や悩みを、誰（どこ）に相談しようと思いますか。
【MA】

- 「同居の家族」(54.2%) が最も高く、「友人・知人」(42.0%)、「同居していない家族」(41.5%)と続きます。
- 4.3%が「相談しようと思う人(場所)がない」と回答しています。

【その他一例】
・成年後見制度を利用
・相談したいと思ったことがない

No.		数	割合
1	同居の家族	316	54.2%
2	同居していない家族	242	41.5%
3	親戚	118	20.2%
4	友人・知人	245	42.0%
5	近所の人	49	8.4%
6	職場の同僚・上司	80	13.7%
7	町役場	83	14.2%
8	医療機関	47	8.1%
9	社会福祉協議会	27	4.6%
10	民生委員・児童委員	14	2.4%
11	NPO やボランティア団体	4	0.7%
12	心配ごと相談や電話相談など	13	2.2%
13	ケアマネジャーやヘルパー	34	5.8%
14	その他	6	1.0%
15	相談しようと思う人(場所)がない	25	4.3%
	無回答	9	1.5%
	回答者数	583	-



①年代別結果

- 年代別にみると、最も高い割合となっている項目が、20・30歳代では「友人・知人」、その他の年代層では「同居の家族」となっています。
- 「相談しようと思う人（場所）がない」の回答については、いずれも1割を切っているものの、60歳代以上の層に比べると、50歳以下の層ではやや高めとなっています。

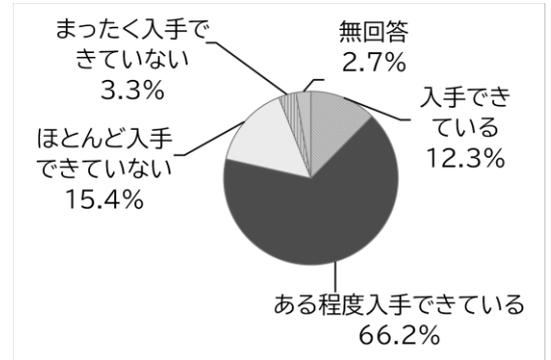
	回答者数	同居の家族	同居していない家族	親戚	友人・知人	近所の人	職場の同僚・上司	町役場	医療機関
全体	583	54.2%	41.5%	20.2%	42.0%	8.4%	13.7%	14.2%	8.1%
20・30歳代	66	51.5%	48.5%	13.6%	56.1%	1.5%	25.8%	3.0%	4.5%
40歳代	94	58.5%	39.4%	8.5%	42.6%	3.2%	31.9%	10.6%	9.6%
50歳代	82	56.1%	46.3%	14.6%	41.5%	1.2%	25.6%	11.0%	3.7%
60歳代	110	60.9%	38.2%	26.4%	51.8%	6.4%	9.1%	16.4%	13.6%
70歳代	136	50.7%	39.0%	28.7%	36.8%	15.4%	1.5%	16.2%	7.4%
80歳以上	89	46.1%	42.7%	23.6%	29.2%	18.0%	0.0%	23.6%	7.9%

	回答者数	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	NPOやボランティア団体	心配ごと相談や電話相談など	ケアマネジャーやヘルパー	その他	相談しようと思う人（場所）がない	無回答
全体	583	4.6%	2.4%	0.7%	2.2%	5.8%	1.0%	4.3%	1.5%
20・30歳代	66	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	6.1%	1.5%
40歳代	94	1.1%	1.1%	0.0%	1.1%	3.2%	1.1%	9.6%	1.1%
50歳代	82	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	6.1%	1.2%	8.5%	1.2%
60歳代	110	3.6%	2.7%	0.0%	0.9%	3.6%	1.8%	2.7%	0.0%
70歳代	136	8.1%	2.2%	1.5%	5.1%	7.4%	0.7%	0.7%	2.9%
80歳以上	89	11.2%	7.9%	2.2%	3.4%	12.4%	1.1%	1.1%	0.0%

問 14 あなたは、福祉や健康に関する情報を江差町から十分に得られていると思いますか。【SA】

- 「まったく入手できていない」(3.3%)、「ほとんど入手できていない」(15.4%)となっており、あわせると約2割が入手できていないと回答しています。

No.		数	割合
1	十分な情報を入手できている	72	12.3%
2	十分ではないが、ある程度の情報を入手できている	386	66.2%
3	情報をほとんど入手できていない	90	15.4%
4	情報をまったく入手できていない	19	3.3%
	無回答	16	2.7%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

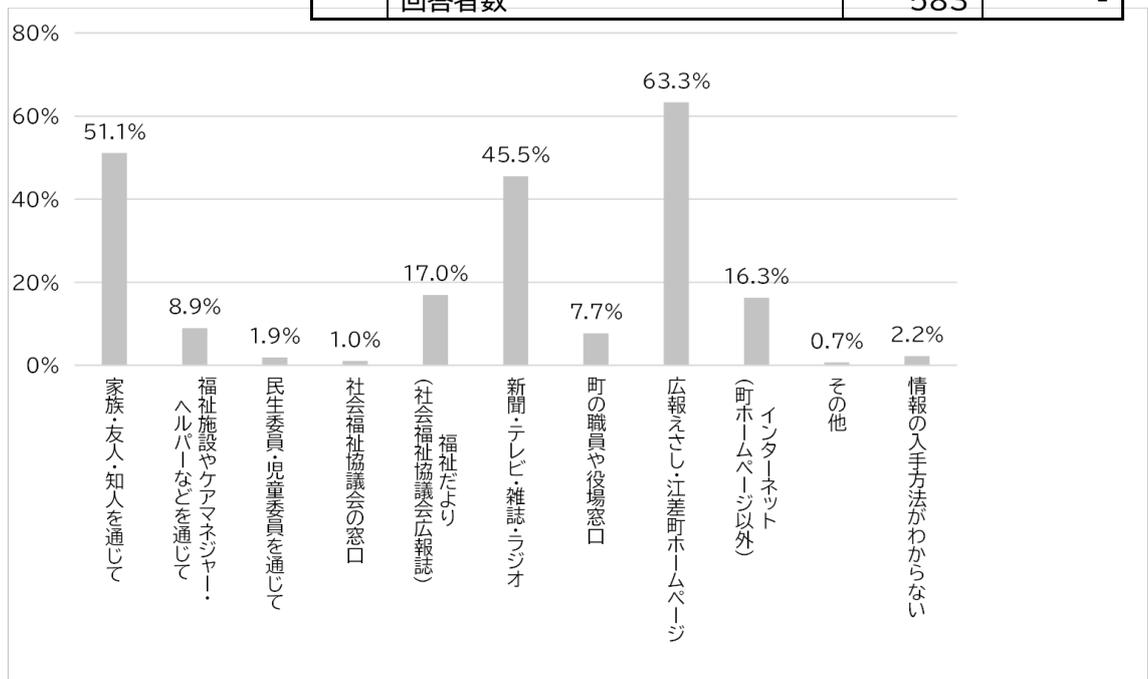
- 「まったく入手できていない」・「ほとんど入手できていない」の合計をみると、40歳代以下は約3割、50歳代は約2割、60歳代以上は1割前後と、年代の若い方が入手できていないと回答しています。

	回答者数	十分な情報を入手できている	十分ではないが、ある程度の情報を入手できている	情報をほとんど入手できていない	情報をまったく入手できていない	無回答
全体	583	12.3%	66.2%	15.4%	3.3%	2.7%
20・30歳代	66	9.1%	57.6%	27.3%	6.1%	0.0%
40歳代	94	13.8%	55.3%	25.5%	4.3%	1.1%
50歳代	82	13.4%	68.3%	15.9%	1.2%	1.2%
60歳代	110	8.2%	75.5%	12.7%	0.9%	2.7%
70歳代	136	17.6%	69.9%	5.9%	0.7%	5.9%
80歳以上	89	9.0%	67.4%	13.5%	9.0%	1.1%

問 15 あなたは、福祉や健康についての情報や知識はどのようにして得ていますか。
【MA】

- 「広報えさし・江差町ホームページ」(63.3%)が最も高く、「家族・友人・知人を通じて」(51.1%)、「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」(45.5%)と続きます。

No.		数	割合
1	家族・友人・知人を通じて	298	51.1%
2	福祉施設やケアマネジャー・ヘルパーなどを通じて	52	8.9%
3	民生委員・児童委員を通じて	11	1.9%
4	社会福祉協議会の窓口	6	1.0%
5	福祉だより(社会福祉協議会広報誌)	99	17.0%
6	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ	265	45.5%
7	町の職員や役場窓口	45	7.7%
8	広報えさし・江差町ホームページ	369	63.3%
9	インターネット(町ホームページ以外)	95	16.3%
10	その他	4	0.7%
11	情報の入手方法がわからない	13	2.2%
	無回答	11	1.9%
	回答者数	583	-



①年代別結果

- 年代別に最も高い項目をみると、70歳代以下では「広報えさし・江差町ホームページ」、80歳以上では「家族・友人・知人を通じて」となっています。

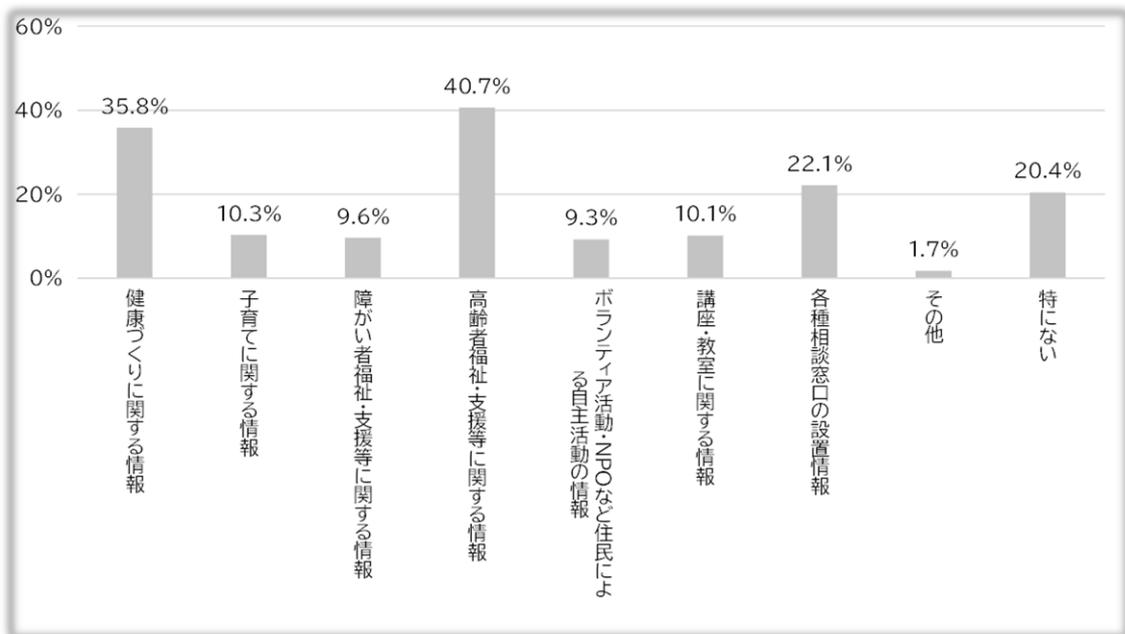
	回答者数	家族・友人・知人を通じて	福祉施設やケアマネジャー・ヘルパーなどを通じて	民生委員・児童委員を通じて	社会福祉協議会の窓口	福祉だより（社会福祉協議会広報誌）	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ	町の職員や役場窓口	広報えさし・江差町ホームページ
全体	583	51.1%	8.9%	1.9%	1.0%	17.0%	45.5%	7.7%	63.3%
20・30歳代	66	48.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	34.8%	7.6%	63.6%
40歳代	94	48.9%	5.3%	3.2%	0.0%	18.1%	29.8%	8.5%	59.6%
50歳代	82	42.7%	8.5%	1.2%	0.0%	14.6%	34.1%	7.3%	68.3%
60歳代	110	50.0%	5.5%	0.0%	0.9%	18.2%	53.6%	5.5%	77.3%
70歳代	136	55.9%	13.2%	2.9%	2.2%	21.3%	57.4%	9.6%	62.5%
80歳以上	89	57.3%	18.0%	3.4%	2.2%	21.3%	53.9%	6.7%	49.4%

	回答者数	インターネット（町ホームページ以外）	その他	情報の入手方法がわからない	無回答
全体	583	16.3%	0.7%	2.2%	1.9%
20・30歳代	66	34.8%	4.5%	1.5%	0.0%
40歳代	94	33.0%	0.0%	4.3%	0.0%
50歳代	82	20.7%	1.2%	2.4%	0.0%
60歳代	110	14.5%	0.0%	0.9%	2.7%
70歳代	136	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%
80歳以上	89	2.2%	0.0%	5.6%	1.1%

問 16 あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。【MA】

- 「高齢者福祉・支援等に関する情報」(40.7%)が最も高く、「健康づくりに関する情報」(35.8%)と続きます。

No.		数	割合
1	健康づくりに関する情報	209	35.8%
2	子育てに関する情報	60	10.3%
3	障がい者福祉・支援等に関する情報	56	9.6%
4	高齢者福祉・支援等に関する情報	237	40.7%
5	ボランティア活動・NPO など住民による自主活動の情報	54	9.3%
6	講座・教室に関する情報	59	10.1%
7	各種相談窓口の設置情報	129	22.1%
8	その他	10	1.7%
9	特にない	119	20.4%
	無回答	19	3.3%
	回答者数	583	-



①年代別結果

- 年代別にみると、最も高い割合となっている項目が、20・30歳代では「子育てに関する情報」、40歳代では「健康づくりに関する情報」、その他の年代層では「高齢者福祉・支援等に関する情報」となっています。
- 「健康づくりに関する情報」の回答については、いずれも3割を超えており、関心が高い傾向がみられます。

	回答者数	健康づくりに関する情報	子育てに関する情報	障がい者福祉・支援等に関する情報	高齢者福祉・支援等に関する情報	ボランティア活動・NPOなど住民による自主活動の情報
全体	583	35.8%	10.3%	9.6%	40.7%	9.3%
20・30歳代	66	34.8%	40.9%	7.6%	9.1%	6.1%
40歳代	94	36.2%	28.7%	17.0%	20.2%	11.7%
50歳代	82	30.5%	1.2%	11.0%	39.0%	13.4%
60歳代	110	39.1%	2.7%	4.5%	43.6%	10.9%
70歳代	136	36.8%	0.7%	9.6%	57.4%	8.8%
80歳以上	89	37.1%	0.0%	7.9%	57.3%	4.5%

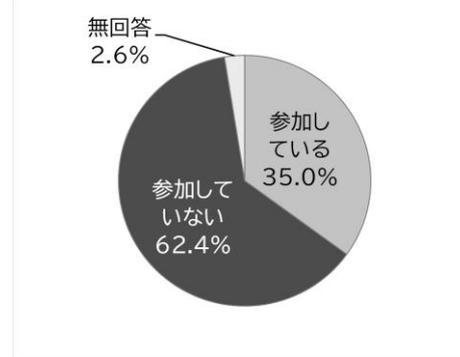
	回答者数	講座・教室に関する情報	各種相談窓口の設置情報	その他	特になし	無回答
全体	583	10.1%	22.1%	1.7%	20.4%	3.3%
20・30歳代	66	13.6%	15.2%	1.5%	24.2%	1.5%
40歳代	94	13.8%	23.4%	2.1%	23.4%	3.2%
50歳代	82	12.2%	25.6%	2.4%	20.7%	1.2%
60歳代	110	12.7%	29.1%	0.0%	21.8%	3.6%
70歳代	136	4.4%	21.3%	2.2%	16.2%	2.9%
80歳以上	89	6.7%	14.6%	2.2%	20.2%	4.5%

3 地域活動・ボランティア活動について

問 17 あなたは、地域での活動（町内会や自治会・子ども会・老人クラブなどのお住まいの地域を対象とした活動）やボランティア活動（本アンケートでは自主的・自発的な無償の活動）に参加していますか。【SA】

- 約 3 割が「参加している」と回答しています。

No.		数	割合
1	参加している	204	35.0%
2	参加していない	364	62.4%
	無回答	15	2.6%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 20・30歳代の約 1 割、40歳代の約 2 割、50・60歳代の約 3 割、80歳以上の約 4 割、70歳代の約 5 割が「参加している」と回答しています。

	回答者数	参加している	参加していない	無回答
全体	583	35.0%	62.4%	2.6%
20・30 歳代	66	15.2%	84.8%	0.0%
40 歳代	94	22.3%	77.7%	0.0%
50 歳代	82	36.6%	62.2%	1.2%
60 歳代	110	36.4%	60.9%	2.7%
70 歳代	136	49.3%	47.8%	2.9%
80 歳以上	89	39.3%	57.3%	3.4%

②居住（江差町に住み始めるきっかけ）別結果

- 生まれたときから、Uターンで住んでいる方の約 4 割、江差町出身ではないが転入して住んでいる方の約 3 割が「参加している」と回答しています。

	回答者数	参加している	参加していない	無回答
全体	583	35.0%	62.4%	2.6%
生まれたときから住んでいる	190	41.6%	54.7%	3.7%
Uターンして住んでいる	97	38.1%	60.8%	1.0%
江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	30.1%	68.5%	1.4%

③居住年数別結果

- 5年未満の約1割、5年以上20年未満の約2割、20年以上の約4割が「参加している」と回答しています。

	回答者数	参加している	参加していない	無回答
全体	583	35.0%	62.4%	2.6%
5年未満	76	9.2%	90.8%	0.0%
5年以上10年未満	24	20.8%	79.2%	0.0%
10年以上20年未満	46	21.7%	78.3%	0.0%
20年以上30年未満	58	37.9%	58.6%	3.4%
30年以上	371	42.6%	54.7%	2.7%

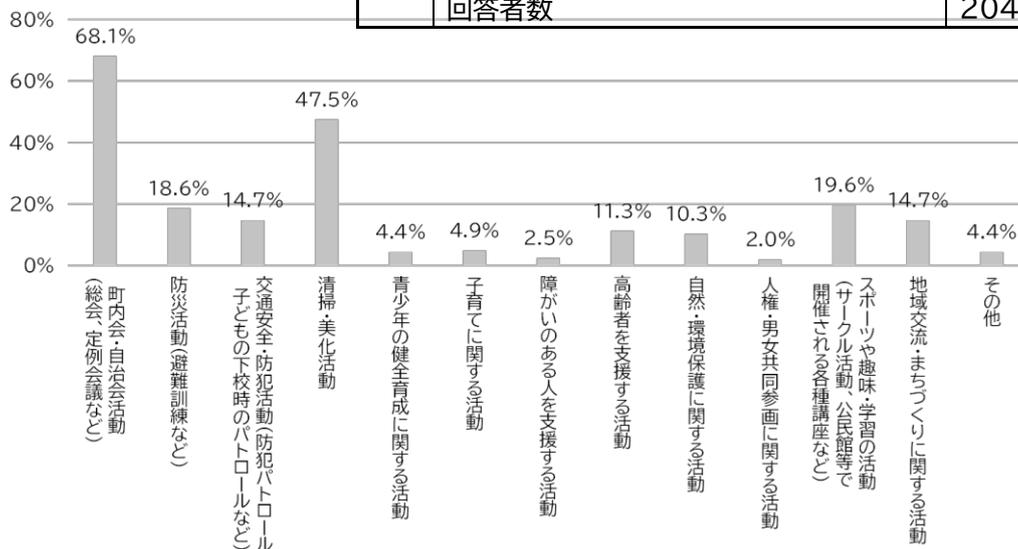
問17-1 あなたは、どのような活動に参加していますか。【MA】

※問17-1は、問17で「1. 参加している」と回答した方のみ対象

- 「町内会・自治会活動(総会、定例会議など)」(68.1%)が最も高く、「清掃・美化活動」(47.5%)と続きます。

【その他一例】
・観光ボランティア
・祭り

No.		数	割合
1	町内会・自治会活動(総会、定例会議など)	139	68.1%
2	防災活動(避難訓練など)	38	18.6%
3	交通安全・防犯活動(防犯パトロール、子どもの下校時のパトロールなど)	30	14.7%
4	清掃・美化活動	97	47.5%
5	青少年の健全育成に関する活動	9	4.4%
6	子育てに関する活動	10	4.9%
7	障がいのある人を支援する活動	5	2.5%
8	高齢者を支援する活動	23	11.3%
9	自然・環境保護に関する活動	21	10.3%
10	人権・男女共同参画に関する活動	4	2.0%
11	スポーツや趣味・学習の活動(サークル活動、公民館等で開催される各種講座など)	40	19.6%
12	地域交流・まちづくりに関する活動	30	14.7%
13	その他	9	4.4%
	無回答	3	1.5%
	回答者数	204	-



問 17-2 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加していない理由は何ですか。
【MA】

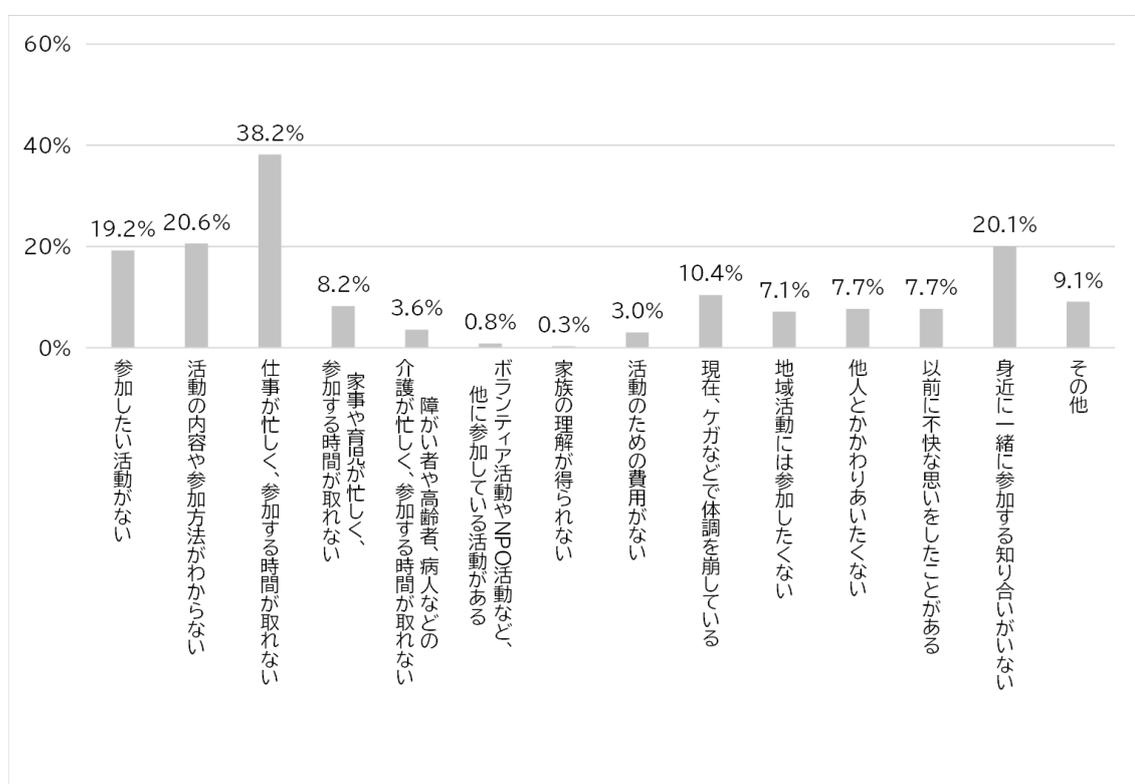
※問 17-2 は問 17 で「2. 参加していない」と回答した方のみ対象

- 「仕事が忙しく、参加する時間が取れない」(38.2%) が最も高いものの、「活動の内容や参加方法がわからない」・「身近に一緒に参加する知り合いがいない」・「参加したい活動がない」方もそれぞれ2割程度みられます。

【その他一例】

- ・高齢のため
- ・ボランティア活動に係る情報が入ってこない。どんなボランティアがあるのかわからない

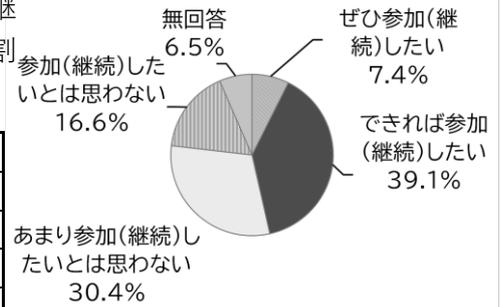
No.		数	割合
1	参加したい活動がない	70	19.2%
2	活動の内容や参加方法がわからない	75	20.6%
3	仕事が忙しく、参加する時間が取れない	139	38.2%
4	家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない	30	8.2%
5	障がい者や高齢者、病人などの介護が忙しく、参加する時間が取れない	13	3.6%
6	ボランティア活動やNPO活動など、他に参加している活動がある	3	0.8%
7	家族の理解が得られない	1	0.3%
8	活動のための費用がない	11	3.0%
9	現在、ケガなどで体調を崩している	38	10.4%
10	地域活動には参加したくない	26	7.1%
11	他人とかかわりあいたくない	28	7.7%
12	以前に不快な思いをしたことがある	28	7.7%
13	身近に一緒に参加する知り合いがいない	73	20.1%
14	その他	33	9.1%
	無回答	17	4.7%
	回答者数	364	-



問 18 あなたは今後、地域活動やボランティア活動に参加（継続）したいと思えますか。【SA】

- 「ぜひ参加（継続）したい」（7.4%）、「できれば参加（継続）したい」（39.1%）となっており、あわせると約4割が参加（継続）の意向を回答しています。

No.		数	割合
1	ぜひ参加(継続)したい	43	7.4%
2	できれば参加(継続)したい	228	39.1%
3	あまり参加(継続)したいとは思わない	177	30.4%
4	参加(継続)したいとは思わない	97	16.6%
	無回答	38	6.5%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 「ぜひ参加（継続）したい」・「できれば参加（継続）したい」の合計をみると、20・30歳代では約3割、40歳代・80歳以上では約4割、50～70歳代では約5割となっています。

	回答者数	(継続)ぜひ参加したい	(継続)できれば参加したい	あまり参加(継続)したいとは思わない	参加(継続)したいとは思わない	無回答
全体	583	7.4%	39.1%	30.4%	16.6%	6.5%
20・30歳代	66	6.1%	30.3%	47.0%	16.7%	0.0%
40歳代	94	8.5%	35.1%	38.3%	17.0%	1.1%
50歳代	82	3.7%	51.2%	29.3%	14.6%	1.2%
60歳代	110	6.4%	44.5%	30.0%	10.9%	8.2%
70歳代	136	7.4%	41.9%	25.0%	13.2%	12.5%
80歳以上	89	11.2%	28.1%	21.3%	30.3%	9.0%

②居住（江差町に住み始めるきっかけ）別結果

- 「ぜひ参加（継続）したい」・「できれば参加（継続）したい」の合計をみると、いずれも4～5割程度の方が何かしらの参加の意向を示しています

	回答者数	(継続)ぜひ参加したい	(継続)できれば参加したい	あまり参加(継続)したいとは思わない	参加(継続)したいとは思わない	無回答
全体	583	7.4%	39.1%	30.4%	16.6%	6.5%
生まれたときから住んでいる	190	11.1%	38.4%	27.9%	13.7%	8.9%
Uターンして住んでいる	97	6.2%	42.3%	26.8%	20.6%	4.1%
江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	5.5%	39.4%	32.9%	17.6%	4.5%

③居住年数別結果

- 「ぜひ参加（継続）したい」・「できれば参加（継続）したい」の合計をみると、20年未満の約4割、20年以上の約5割が何かしらの参加の意向を示しています。

	回答者数	ぜひ参加 (継続)したい	できれば参加 (継続)したい	あまり参加 (継続)したい とは思わない	参加(継続) したいとは思わない	無回答
全体	583	7.4%	39.1%	30.4%	16.6%	6.5%
5年未満	76	7.9%	34.2%	36.8%	18.4%	2.6%
5年以上10年未満	24	8.3%	29.2%	33.3%	29.2%	0.0%
10年以上20年未満	46	2.2%	39.1%	37.0%	21.7%	0.0%
20年以上30年未満	58	3.4%	48.3%	32.8%	15.5%	0.0%
30年以上	371	8.6%	39.9%	27.5%	15.4%	8.6%

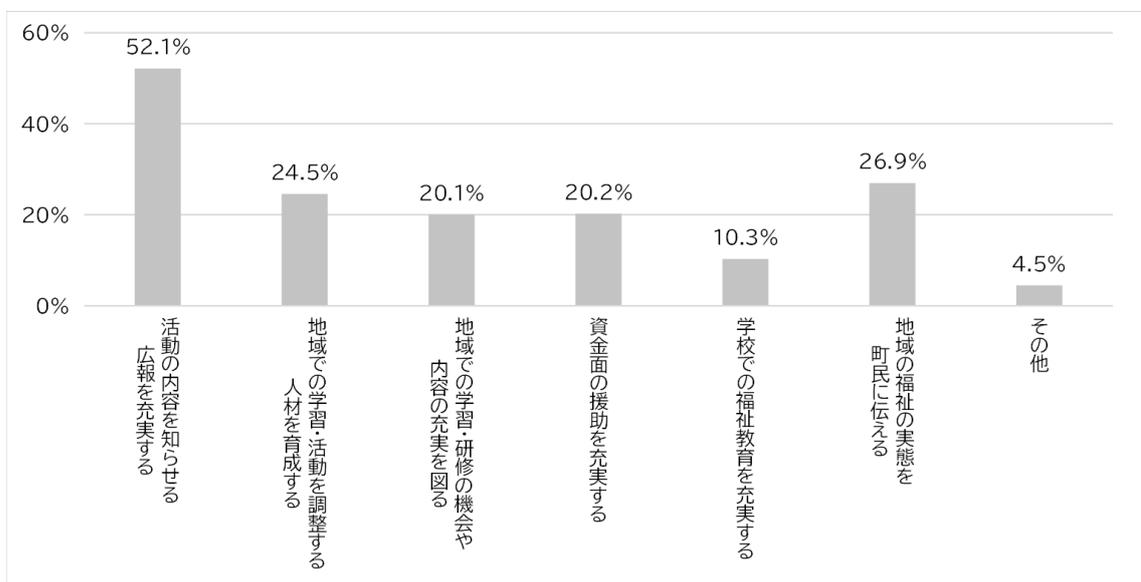
問19 地域活動やボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが重要だと思いますか。【MA】

- 「活動内容を知らせる広報を充実する」(52.1%)が最も高く、「地域の福祉の実態を町民に伝える」(26.9%)、「地域での学習・活動を調整する人材を育成する」(24.5%)と続きます。

【その他一例】

- ・どういうボランティアが求められているのか発信する。求められている事が明確になれば活動しようと思える
- ・都合のよいときに参加できるもの

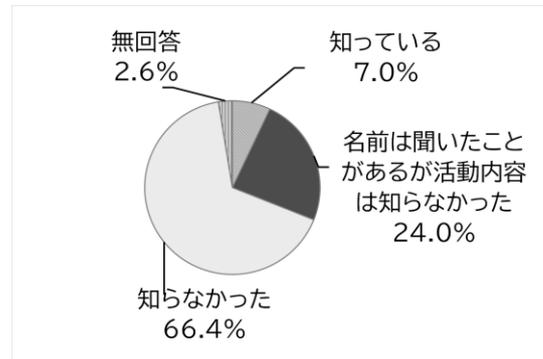
No.		数	割合
1	活動の内容を知らせる広報を充実する	304	52.1%
2	地域での学習・活動を調整する人材を育成する	143	24.5%
3	地域での学習・研修の機会や内容の充実を図る	117	20.1%
4	資金面の援助を充実する	118	20.2%
5	学校での福祉教育を充実する	60	10.3%
6	地域の福祉の実態を町民に伝える	157	26.9%
7	その他	26	4.5%
	無回答	83	14.2%
	回答者数	583	-



問 20 「江差町ボランティアセンター」の活動について、知っていますか。【SA】

- 約7割が「知らなかった」と回答しています。

No.		数	割合
1	知っている	41	7.0%
2	名前は聞いたことがあるが活動内容は知らなかった	140	24.0%
3	知らなかった	387	66.4%
	無回答	15	2.6%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 50歳代以下の「知らなかった」割合は8割を超えています。また、60歳代の約6割、70歳代以上の約5割を占めます。

	回答者数	知っている	名前は聞いたことがあるが活動内容は知らなかった	知らなかった	無回答
全体	583	7.0%	24.0%	66.4%	2.6%
20・30歳代	66	0.0%	10.6%	89.4%	0.0%
40歳代	94	3.2%	10.6%	86.2%	0.0%
50歳代	82	4.9%	11.0%	84.1%	0.0%
60歳代	110	10.0%	30.0%	58.2%	1.8%
70歳代	136	8.8%	37.5%	50.0%	3.7%
80歳以上	89	12.4%	31.5%	49.4%	6.7%

③居住年数別結果

- 5年未満の「知らなかった」割合は9割を超えています。また、5年以上30年未満では約8割、30年以上では約6割を占めます。

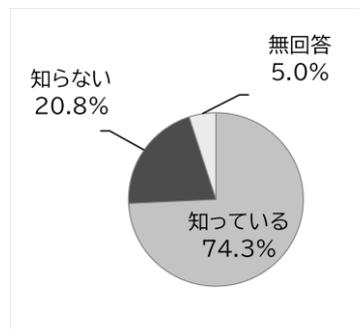
	回答者数	知っている	名前は聞いたことがあるが活動内容は知らなかった	知らなかった	無回答
全体	583	7.0%	24.0%	66.4%	2.6%
5年未満	76	1.3%	6.6%	90.8%	1.3%
5年以上10年未満	24	0.0%	20.8%	79.2%	0.0%
10年以上20年未満	46	0.0%	17.4%	82.6%	0.0%
20年以上30年未満	58	5.2%	12.1%	82.8%	0.0%
30年以上	371	9.4%	30.5%	57.1%	3.0%

4 災害時の対応について

問 21 あなたは、地震や水害などの災害が発生した場合の避難場所を知っていますか。
【SA】

- 約2割が「知らない」と回答しています。

No.		数	割合
1	知っている	433	74.3%
2	知らない	121	20.8%
	無回答	29	5.0%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 20・30歳代の「知らない」割合が他の年代に比べて高く、4割に達しています。

	回答者数	知っている	知らない	無回答
全体	583	74.3%	20.8%	5.0%
20・30歳代	66	56.1%	43.9%	0.0%
40歳代	94	74.5%	23.4%	2.1%
50歳代	82	78.0%	19.5%	2.4%
60歳代	110	74.5%	19.1%	6.4%
70歳代	136	84.6%	11.0%	4.4%
80歳以上	89	73.0%	18.0%	9.0%

②居住（江差町に住み始めるきっかけ）別結果

- いずれも「知らない」割合は1割程度となっています。

	回答者数	知っている	知らない	無回答
全体	583	74.3%	20.8%	5.0%
生まれたときから住んでいる	190	80.0%	11.1%	8.9%
Uターンして住んでいる	97	73.2%	11.3%	15.5%
江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	79.6%	14.2%	6.2%

③居住年数別結果

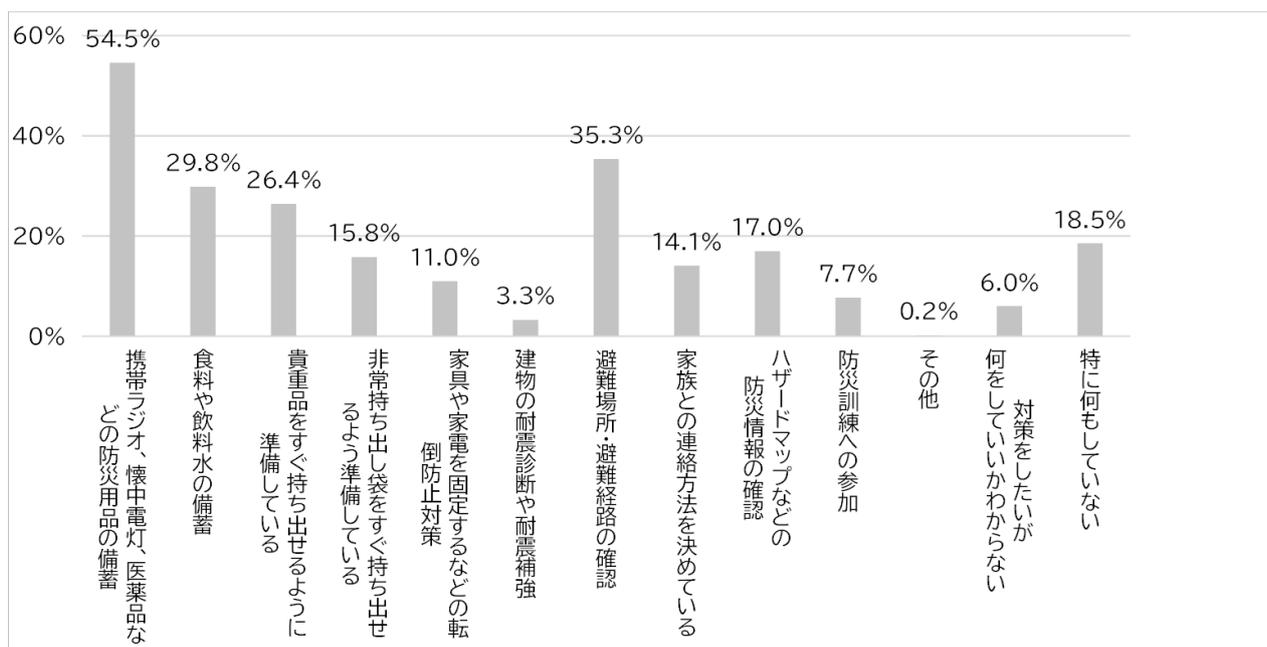
- 5年未満の「知らない」割合が他の年代に比べて高く、5割に達しています。

	回答者数	知っている	知らない	無回答
全体	583	74.3%	20.8%	5.0%
5年未満	76	47.4%	51.3%	1.3%
5年以上10年未満	24	79.2%	20.8%	0.0%
10年以上20年未満	46	73.9%	21.7%	4.3%
20年以上30年未満	58	81.0%	13.8%	5.2%
30年以上	371	79.2%	15.4%	5.4%

問 22 あなたの家では、災害が発生した場合に備えて、普段からどのような対策をとっていますか。【MA】

- 「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの防災用品の備蓄」(54.5%) が最も高く、「避難場所・避難経路の確認」(35.3%) と続きます。
- 「特に何もしていない」と回答した方が約 2 割、「対策をしたいが何をしたいかわからない」と回答した方が 6.0% います。

No.		数	割合
1	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの防災用品の備蓄	318	54.5%
2	食料や飲料水の備蓄	174	29.8%
3	貴重品をすぐ持ち出せるように準備している	154	26.4%
4	非常持ち出し袋をすぐ持ち出せるよう準備している	92	15.8%
5	家具や家電を固定するなどの転倒防止対策	64	11.0%
6	建物の耐震診断や耐震補強	19	3.3%
7	避難場所・避難経路の確認	206	35.3%
8	家族との連絡方法を決めている	82	14.1%
9	ハザードマップなどの防災情報の確認	99	17.0%
10	防災訓練への参加	45	7.7%
11	その他	1	0.2%
12	対策をしたいが何をしたいかわからない	35	6.0%
13	特に何もしていない	108	18.5%
	無回答	21	3.6%
	回答者数	583	-



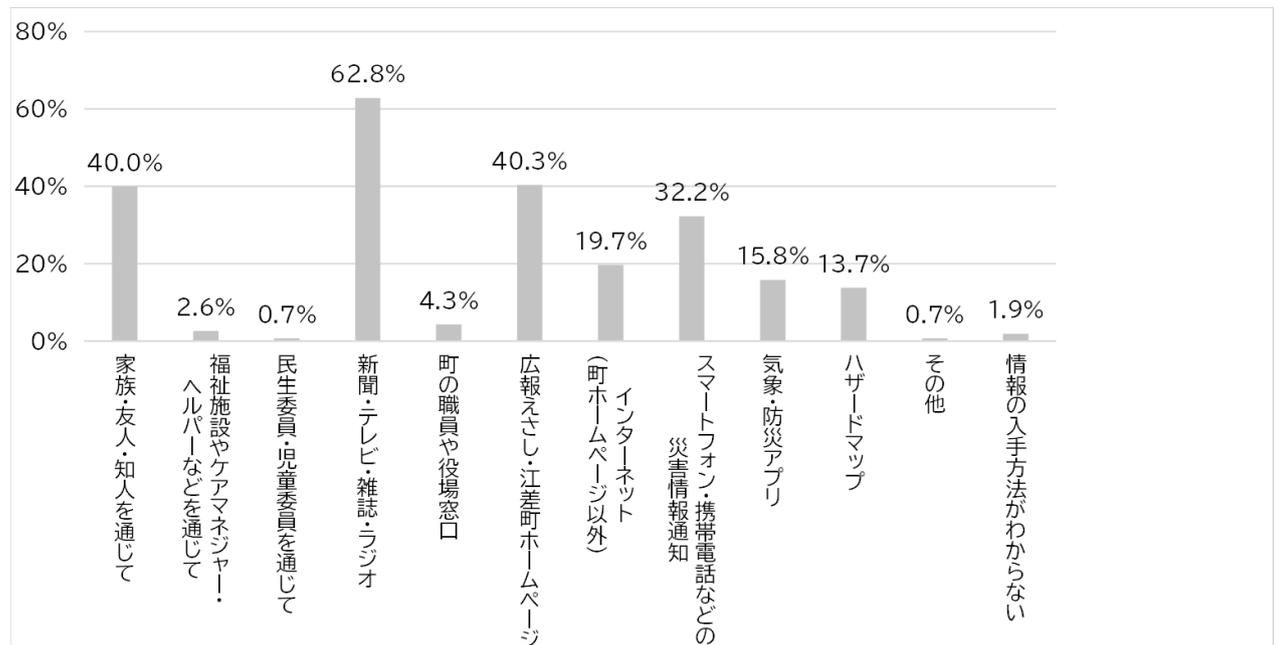
問 23 あなたは、災害についての情報や知識はどのようにして得ていますか。
【MA】

- 「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」(62.8%)が最も高く、「広報えさし・江差町ホームページ」(40.3%)、「家族・友人・知人を通じて」(40.0%)と続きます。

No.		数	割合
1	家族・友人・知人を通じて	233	40.0%
2	福祉施設やケアマネジャー・ヘルパーなどを通じて	15	2.6%
3	民生委員・児童委員を通じて	4	0.7%
4	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ	366	62.8%
5	町の職員や役場窓口	25	4.3%
6	広報えさし・江差町ホームページ	235	40.3%
7	インターネット(町ホームページ以外)	115	19.7%
8	スマートフォン・携帯電話などの災害情報通知	188	32.2%
9	気象・防災アプリ	92	15.8%
10	ハザードマップ	80	13.7%
11	その他	4	0.7%
12	情報の入手方法がわからない	11	1.9%
	無回答	16	2.7%
	回答者数	583	-

【その他一例】

- ・職場
- ・町内会

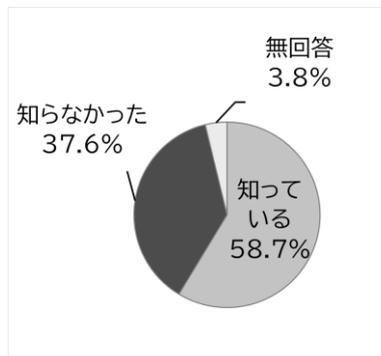


5 権利擁護について

問 24 あなたは、児童や高齢者への虐待を知った場合に、町など公的機関に速やかに通報する義務が町民にあることをご存知でしたか。【SA】

- 約4割が「知らなかった」と回答しています。

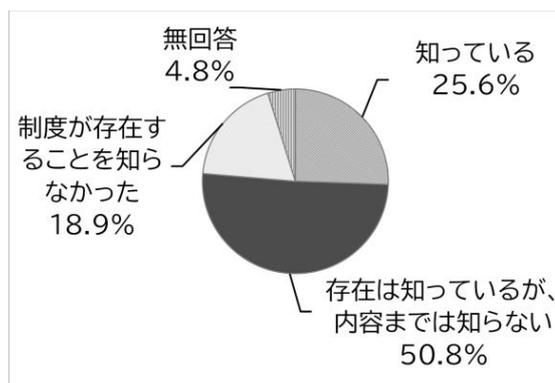
No.		数	割合
1	知っている	342	58.7%
2	知らなかった	219	37.6%
	無回答	22	3.8%
	回答者数	583	100.0%



問 25 あなたは、成年後見制度についてどの程度ご存知ですか。【SA】

- 約2割が「制度が存在することを知らなかった」と回答しています

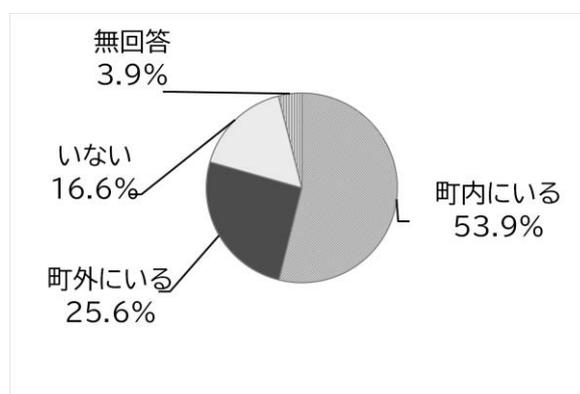
No.		数	割合
1	制度の存在と内容ともに知っている	149	25.6%
2	制度の存在は知っているが、内容までは知らない	296	50.8%
3	制度が存在することを知らなかった	110	18.9%
	無回答	28	4.8%
	回答者数	583	100.0%



問 26 あなたの判断能力が低下した時（認知症になった時など）、契約や金銭の管理をしてくれる人はいますか。【SA】

- 約5割が「町内にいる」と回答しています。

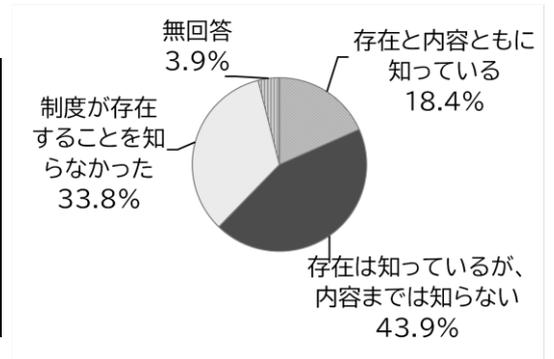
No.		数	割合
1	町内にいる	314	53.9%
2	町外にいる	149	25.6%
3	いない	97	16.6%
	無回答	23	3.9%
	回答者数	583	100.0%



問 27 あなたは、日常生活自立支援事業についてどの程度ご存知ですか。【SA】

- 約3割が「制度が存在することを知らなかった」と回答しています。

No.		数	割合
1	制度の存在と内容ともに知っている	107	18.4%
2	制度の存在は知っているが、内容までは知らない	256	43.9%
3	制度が存在することを知らなかった	197	33.8%
	無回答	23	3.9%
	回答者数	583	100.0%

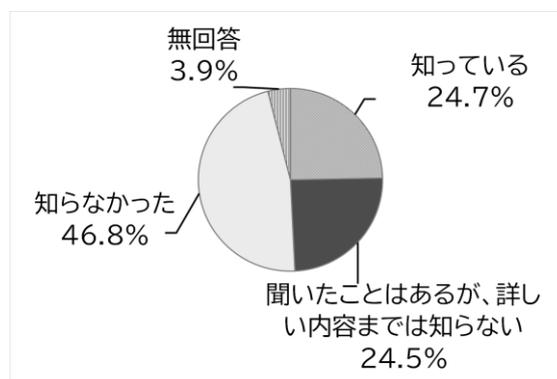


6 ヤングケアラーについて

問 28 あなたは、ヤングケアラーについてどの程度ご存知ですか。【SA】

- 約4割が「知らなかった」と回答しています。

No.		数	割合
1	知っている	144	24.7%
2	聞いたことはあるが、詳しい内容までは知らない	143	24.5%
3	知らなかった	273	46.8%
	無回答	23	3.9%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

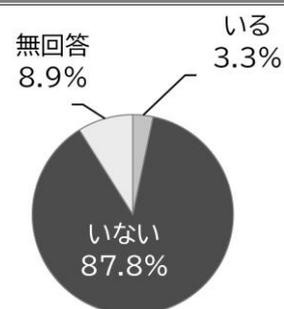
- 年代別に「知らなかった」割合をみると、80歳以上で約6割、20・30・40歳代で約5割、50歳代で約3割、60・70歳代で約4割となっています。

	回答者数	知っている	聞いたことはあるが、詳しい内容までは知らない	知らなかった	無回答
全体	583	24.7%	24.5%	46.8%	3.9%
20・30歳代	66	27.3%	19.7%	51.5%	1.5%
40歳代	94	30.9%	17.0%	52.1%	0.0%
50歳代	82	35.4%	26.8%	36.6%	1.2%
60歳代	110	30.0%	20.9%	46.4%	2.7%
70歳代	136	21.3%	33.1%	41.2%	4.4%
80歳以上	89	5.6%	27.0%	58.4%	9.0%

問 29 現在、あなたの身の回りに、ヤングケアラーと思われる子どもはいますか。【SA】

- 3.3%の方が「いる」と回答しています。

No.		数	割合
1	いる	19	3.3%
2	いない	512	87.8%
	無回答	52	8.9%
	回答者数	583	100.0%



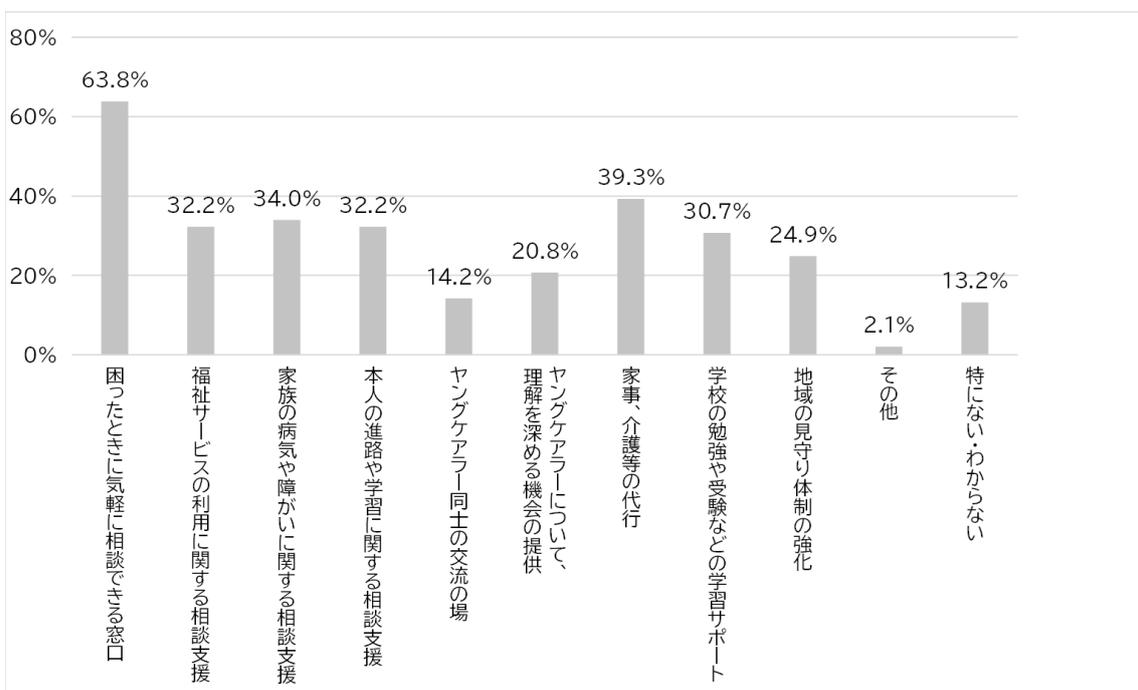
問 30 あなたは、ヤングケアラーに必要な支援はどのようなものだと思いますか。
【MA】

- 「困ったときに気軽に相談できる窓口」(63.8%)が最も高く、「家事、介護等の代行」(39.3%)と続きます。

【その他一例】

- ・ヤングケアラーやその相談場所についての周知
- ・公費でヘルパーを雇ったり、無料で施設に入れたりできるようにしてほしい。
- ・本人の発信を待つのではなく積極的に発見し、支援する体制をつくる

No.		数	割合
1	困ったときに気軽に相談できる窓口	372	63.8%
2	福祉サービスの利用に関する相談支援	188	32.2%
3	家族の病気や障がいに関する相談支援	198	34.0%
4	本人の進路や学習に関する相談支援	188	32.2%
5	ヤングケアラー同士の交流の場	83	14.2%
6	ヤングケアラーについて、理解を深める機会の提供	121	20.8%
7	家事、介護等の代行	229	39.3%
8	学校の勉強や受験などの学習サポート	179	30.7%
9	地域の見守り体制の強化	145	24.9%
10	その他	12	2.1%
11	特にない・わからない	77	13.2%
	無回答	53	9.1%
	回答者数	583	-

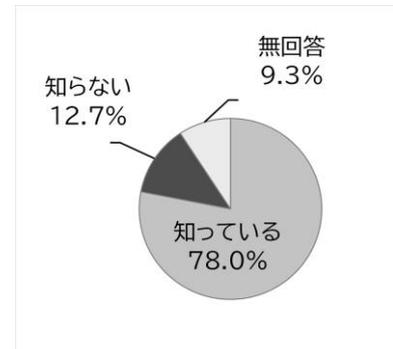


7 民生委員・児童委員、社会福祉協議会について

問 31 あなたは、民生委員・児童委員という名前や制度を知っていますか。【SA】

- 約1割が「知らない」と回答しています。

No.		数	割合
1	知っている	455	78.0%
2	知らない	74	12.7%
	無回答	54	9.3%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 「知らない」と回答した割合は、20・30歳代の約4割、40歳代の約2割を占めていますが、50歳代以上は1割程度となっています。

	回答者数	知っている	知らない	無回答
全体	583	78.0%	12.7%	9.3%
20・30歳代	66	56.1%	39.4%	4.5%
40歳代	94	75.5%	22.3%	2.1%
50歳代	82	87.8%	9.8%	2.4%
60歳代	110	85.5%	5.5%	9.1%
70歳代	136	78.7%	3.7%	17.6%
80歳以上	89	79.8%	7.9%	12.4%

②地区別結果

- 「知らない」と回答した割合は、いずれも1割程度となっています。

	回答者数	知っている	知らない	無回答
全体	583	78.0%	12.7%	9.3%
江差小学校区	279	79.9%	11.8%	8.2%
南が丘小学校区	141	80.9%	10.6%	8.5%
江差北小学校区	150	74.7%	15.3%	10.0%

③居住（江差町に住み始めるきっかけ）別結果

- 「知らない」と回答した割合は、いずれも1割程度となっています。

	回答者数	知っている	知らない	無回答
全体	583	78.0%	12.7%	9.3%
生まれたときから住んでいる	190	80.0%	11.1%	8.9%
Uターンして住んでいる	97	73.2%	11.3%	15.5%
江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	79.6%	14.2%	6.2%

④居住年数別結果

- 「知らない」と回答した割合は、5年未満の約2割、5年以上20年未満の約3割、20年以上の約1割となっています。

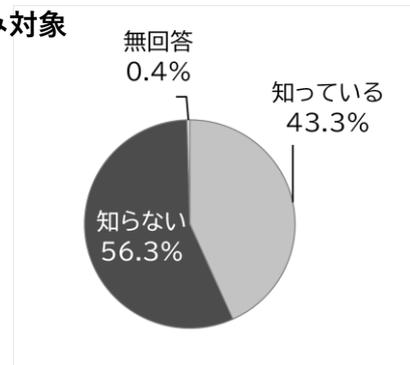
	回答者数	知っている	知らない	無回答
全体	583	78.0%	12.7%	9.3%
5年未満	76	71.1%	23.7%	5.3%
5年以上10年未満	24	62.5%	29.2%	8.3%
10年以上20年未満	46	67.4%	28.3%	4.3%
20年以上30年未満	58	87.9%	10.3%	1.7%
30年以上	371	81.4%	7.5%	11.1%

問 31-1 あなたのお住まいの地区の民生委員・児童委員の方が誰か知っていますか。【SA】

※問 31-1 は、問 31 で「1. 知っている」と回答した方のみ対象

- 約 1 割が「知らない」と回答しています。

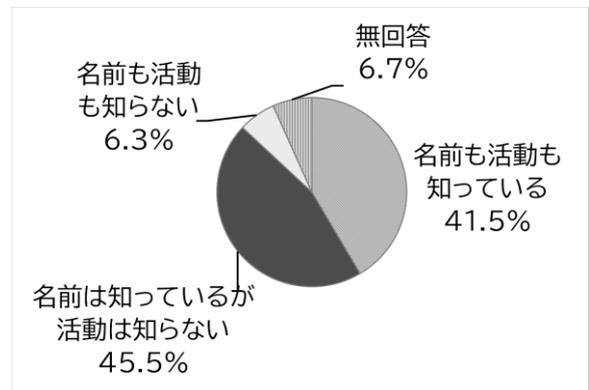
No.		数	割合
1	知っている	197	43.3%
2	知らない	256	56.3%
	無回答	2	0.4%
	回答者数	455	100.0%



問 32 あなたは、江差町社会福祉協議会を知っていますか。【SA】

- 6.3%が「名前も活動も知らない」と回答しています。

No.		数	割合
1	名前も活動も知っている	242	41.5%
2	名前は知っているが活動は知らない	265	45.5%
3	名前も活動も知らない	37	6.3%
	無回答	39	6.7%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 「名前も活動も知らない」と回答した割合は、20・30歳代の約 2 割、40歳代の約 1 割を占めていますが、50歳代以上は 1 割を切っています。

	回答者数	名前も活動も知っている	名前は知っているが活動は知らない	活動も名前も知らない	無回答
全体	583	41.5%	45.5%	6.3%	6.7%
20・30 歳代	66	31.8%	47.0%	18.2%	3.0%
40 歳代	94	36.2%	46.8%	11.7%	5.3%
50 歳代	82	43.9%	47.6%	6.1%	2.4%
60 歳代	110	46.4%	45.5%	1.8%	6.4%
70 歳代	136	46.3%	41.9%	1.5%	10.3%
80 歳以上	89	41.6%	46.1%	4.5%	7.9%

②地区別結果

- 「名前も活動も知らない」と回答した割合は、いずれも1割を切っています。

	回答者数	名前も活動も知っている	名前は知っているが活動は知らない	活動も知らない名前も	無回答
全体	583	41.5%	45.5%	6.3%	6.7%
江差小学校区	279	48.0%	40.9%	5.7%	5.4%
南が丘小学校区	141	37.6%	47.5%	8.5%	6.4%
江差小学校区	150	48.0%	40.9%	5.7%	5.4%

③居住（江差町に住み始めるきっかけ）別結果

- 「名前も活動も知らない」と回答した割合は、いずれも1割を切っています。

	回答者数	名前も活動も知っている	名前は知っているが活動は知らない	活動も知らない名前も	無回答
全体	583	41.5%	45.5%	6.3%	6.7%
生まれたときから住んでいる	190	49.5%	41.6%	3.7%	5.3%
Uターンして住んでいる	97	39.2%	47.4%	3.1%	10.3%
江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	38.1%	48.4%	9.0%	4.5%

④居住年数別結果

- 「名前も活動も知らない」と回答した割合は、5年以上10年未満の約2割となっています。

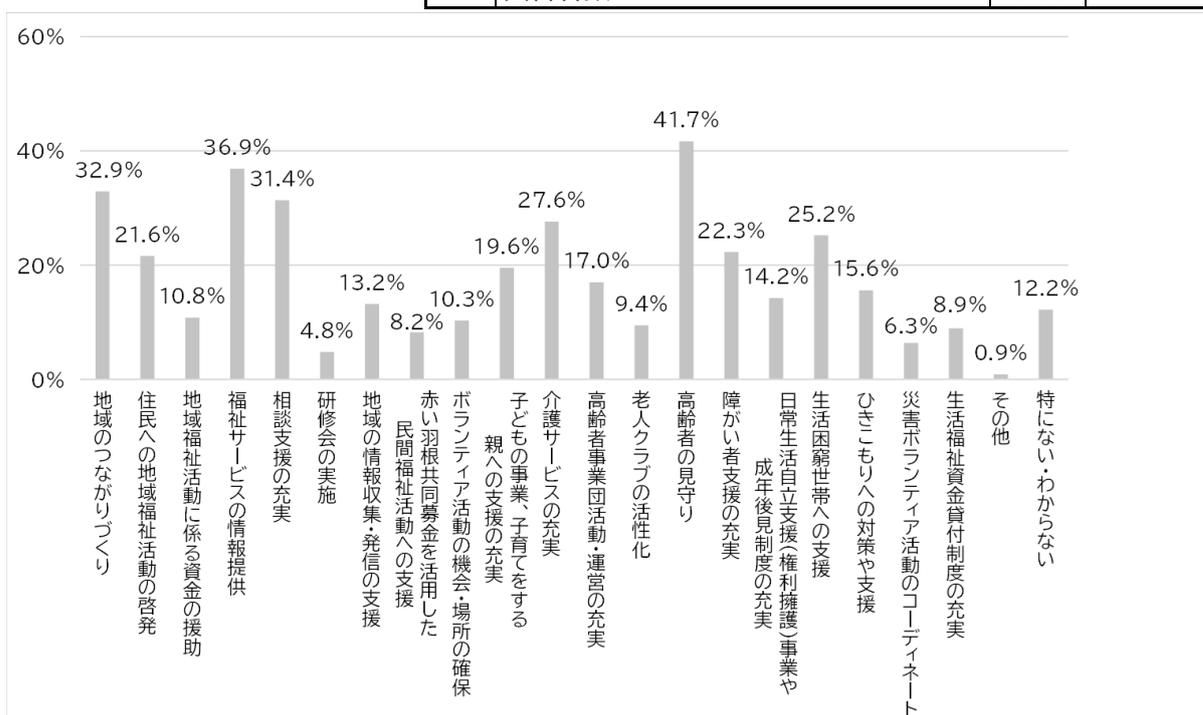
	回答者数	名前も活動も知っている	名前は知っているが活動は知らない	活動も知らない名前も	無回答
全体	583	41.5%	45.5%	6.3%	6.7%
5年未満	76	31.6%	44.7%	19.7%	3.9%
5年以上10年未満	24	33.3%	37.5%	20.8%	8.3%
10年以上20年未満	46	19.6%	67.4%	6.5%	6.5%
20年以上30年未満	58	43.1%	51.7%	1.7%	3.4%
30年以上	371	47.4%	43.1%	3.2%	6.2%

問 33 江差町社会福祉協議会に期待することはどんなことですか。【MA】

- 「高齢者の見守り」(41.7%)が最も高く、「福祉サービスの情報提供」(36.9%)、「地域のつながりづくり」(32.9%)、「相談支援の充実」(31.4%)と続きます。

【その他一例】
 ・児童虐待、ヤングケアラーなど江差の未来を支える若い人向けの支援。若い人が少なく、できるはず
 ・全項目で対応、都度追加が必要

No.		数	割合
1	地域のつながりづくり	192	32.9%
2	住民への地域福祉活動の啓発	126	21.6%
3	地域福祉活動に係る資金の援助	63	10.8%
4	福祉サービスの情報提供	215	36.9%
5	相談支援の充実	183	31.4%
6	研修会の実施	28	4.8%
7	地域の情報収集・発信の支援	77	13.2%
8	赤い羽根共同募金を活用した民間福祉活動への支援	48	8.2%
9	ボランティア活動の機会・場所の確保	60	10.3%
10	子どもの事業、子育てをする親への支援の充実	114	19.6%
11	介護サービスの充実(ケアマネジメント、ホームヘルプサービス等)	161	27.6%
12	高齢者事業団活動・運営の充実	99	17.0%
13	老人クラブの活性化	55	9.4%
14	高齢者の見守り	243	41.7%
15	障がい者支援の充実	130	22.3%
16	日常生活自立支援(権利擁護)事業や成年後見制度の充実	83	14.2%
17	生活困窮世帯への支援	147	25.2%
18	ひきこもりへの対策や支援	91	15.6%
19	災害ボランティア活動のコーディネート	37	6.3%
20	生活福祉資金貸付制度の充実	52	8.9%
21	その他	5	0.9%
22	特にない・わからない	71	12.2%
	無回答	38	6.5%
	回答者数	583	-



①年代別結果

- 年代別に最も高い割合の項目みると、20・30歳代は「子どもの事業・子育てをする親への支援の充実」、40歳代以上は「高齢者の見守り」となっています。

	回答者数	地域のつながりづくり	住民への地域福祉活動の啓発	地域福祉活動に係る資金の援助	福祉サービスの情報提供	相談支援の充実	研修会の実施	地域の情報収集・発信の支援	赤い羽根共同募金を活用した民間福祉活動への支援
全体	583	32.9%	21.6%	10.8%	36.9%	31.4%	4.8%	13.2%	8.2%
20・30歳代	66	28.8%	9.1%	7.6%	16.7%	16.7%	3.0%	6.1%	3.0%
40歳代	94	26.6%	17.0%	13.8%	34.0%	34.0%	3.2%	9.6%	9.6%
50歳代	82	25.6%	20.7%	9.8%	37.8%	36.6%	3.7%	7.3%	4.9%
60歳代	110	31.8%	27.3%	11.8%	43.6%	34.5%	5.5%	17.3%	6.4%
70歳代	136	39.7%	22.8%	9.6%	41.9%	34.6%	5.1%	16.2%	9.6%
80歳以上	89	41.6%	28.1%	11.2%	39.3%	28.1%	7.9%	19.1%	14.6%

	回答者数	ボランティア活動の機会・場所の確保	子どもの事業、子育てをする親への支援の充実	介護サービスの充実（ケアマネジメント、ホームヘルプサービス等）	高齢者事業団活動・運営の充実	老人クラブの活性化	高齢者の見守り	障がい者支援の充実	日常生活自立支援（権利擁護）事業や成年後見制度の充実
全体	583	10.3%	19.6%	27.6%	17.0%	9.4%	41.7%	22.3%	14.2%
20・30歳代	66	6.1%	33.3%	21.2%	12.1%	6.1%	27.3%	22.7%	10.6%
40歳代	94	11.7%	33.0%	23.4%	10.6%	4.3%	35.1%	23.4%	14.9%
50歳代	82	14.6%	22.0%	37.8%	13.4%	3.7%	42.7%	29.3%	18.3%
60歳代	110	14.5%	13.6%	26.4%	20.9%	5.5%	44.5%	23.6%	13.6%
70歳代	136	4.4%	11.0%	24.3%	21.3%	11.0%	43.4%	20.6%	13.2%
80歳以上	89	12.4%	12.4%	34.8%	19.1%	25.8%	51.7%	15.7%	13.5%

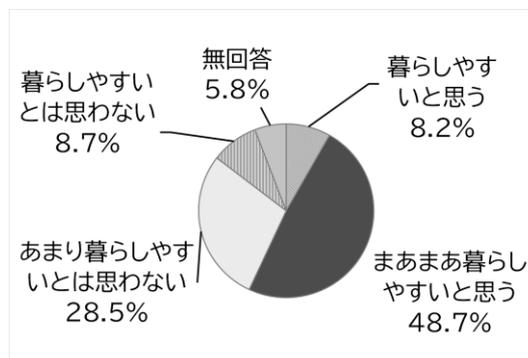
	回答者数	生活困窮世帯への支援	ひきこもりへの対策や支援	災害ボランティア活動のコーディネート	生活福祉資金貸付制度の充実	その他	わからない・わからない	無回答
全体	583	25.2%	15.6%	6.3%	8.9%	0.9%	12.2%	6.5%
20・30歳代	66	19.7%	9.1%	7.6%	6.1%	0.0%	22.7%	4.5%
40歳代	94	22.3%	23.4%	3.2%	9.6%	0.0%	13.8%	4.3%
50歳代	82	19.5%	13.4%	4.9%	8.5%	3.7%	11.0%	1.2%
60歳代	110	30.9%	21.8%	6.4%	8.2%	0.0%	10.9%	5.5%
70歳代	136	30.1%	11.0%	5.9%	6.6%	0.7%	7.4%	9.6%
80歳以上	89	24.7%	13.5%	11.2%	14.6%	1.1%	13.5%	10.1%

8 地域福祉の今後の取組について

問 34 あなたは、江差町は地域福祉の面から暮らしやすいまちだと思いますか。【SA】

- 「暮らしやすいと思う」(8.2%)、「まあまあ暮らしやすいと思う」(48.7%)となっており、あわせると約5割が暮らしやすいと回答しています。

No.		数	割合
1	暮らしやすいと思う	48	8.2%
2	まあまあ暮らしやすいと思う	284	48.7%
3	あまり暮らしやすいとは思わない	166	28.5%
4	暮らしやすいとは思わない	51	8.7%
	無回答	34	5.8%
	回答者数	583	100.0%



①年代別結果

- 「暮らしやすいと思う」・「まあまあ暮らしやすいと思う」をあわせると、20～50歳代、80歳代の約5割、60歳代の約6割、70歳代の約7割が暮らしやすいと回答しています。

	回答者数	暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	無回答
全体	583	8.2%	48.7%	28.5%	8.7%	5.8%
20・30歳代	66	4.5%	47.0%	34.8%	10.6%	3.0%
40歳代	94	2.1%	48.9%	33.0%	14.9%	1.1%
50歳代	82	3.7%	50.0%	34.1%	9.8%	2.4%
60歳代	110	11.8%	46.4%	28.2%	8.2%	5.5%
70歳代	136	14.0%	53.7%	25.0%	2.2%	5.1%
80歳以上	89	9.0%	47.2%	20.2%	10.1%	13.5%

②地区別結果

- 「暮らしやすいと思う」・「まあまあ暮らしやすいと思う」をあわせると、「江差小学校区」の約6割、「南が丘小学校区」・「江差北小学校区」の約5割が暮らしやすいと回答しています。

	回答者数	暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	無回答
全体	583	8.2%	48.7%	28.5%	8.7%	5.8%
江差小学校区	279	7.5%	54.5%	23.7%	9.0%	5.4%
南が丘小学校区	141	7.1%	44.7%	37.6%	6.4%	4.3%
江差北小学校区	150	10.7%	43.3%	29.3%	10.7%	6.0%

③居住（江差町に住み始めるきっかけ）別結果

- 「暮らしやすいと思う」・「まあまあ暮らしやすいと思う」をあわせると、生まれたときから、転入して住んでいるの約5割、Uターンして住んでいるの約4割が暮らしやすいと回答しています。

	回答者数	暮らしやすい と思う	まあまあ暮らし やすいと思う	あまり暮らしやす いとは思わない	暮らしやすい とは思わない	無回答
全体	583	8.2%	48.7%	28.5%	8.7%	5.8%
生まれたときから住んでいる	190	12.1%	52.1%	25.8%	6.8%	3.2%
Uターンして住んでいる	97	5.2%	41.2%	33.0%	14.4%	6.2%
江差町出身ではないが、転入して住んでいる	289	6.2%	50.2%	28.7%	8.3%	6.6%

④居住年数別結果

- 「暮らしやすいと思う」・「まあまあ暮らしやすいと思う」をあわせると、居住年数20年未満の約5割、20年以上30年未満の約4割、30年以上の約6割が暮らしやすいと回答しています。

	回答者数	暮らしやすい と思う	まあまあ暮らし やすいと思う	あまり暮らしやす いとは思わない	暮らしやすい とは思わない	無回答
全体	583	8.2%	48.7%	28.5%	8.7%	5.8%
5年未満	76	7.9%	43.4%	30.3%	13.2%	5.3%
5年以上10年未満	24	4.2%	50.0%	29.2%	16.7%	0.0%
10年以上20年未満	46	0.0%	56.5%	32.6%	6.5%	4.3%
20年以上30年未満	58	3.4%	36.2%	44.8%	12.1%	3.4%
30年以上	371	10.0%	51.8%	25.1%	7.0%	6.2%

⑤愛着度別結果

- 「暮らしやすいと思う」・「まあまあ暮らしやすいと思う」をあわせると、「愛着を感じる」方の約7割、「少し愛着を感じる」方の約5割、「あまり愛着を感じない」方の約3割、「愛着を感じない」方の約2割が暮らしやすいと回答しています。

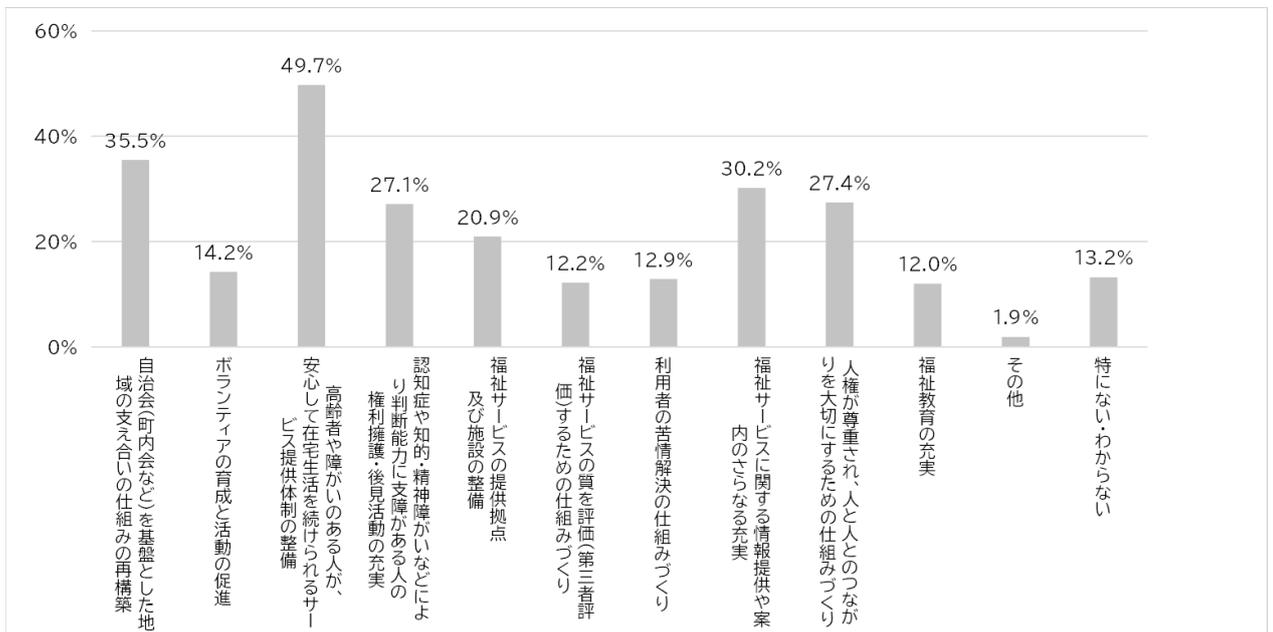
	回答者数	暮らしやすい と思う	まあまあ暮らし やすいと思う	あまり暮らしやす いとは思わない	暮らしやすい とは思わない	無回答
全体	583	8.2%	48.7%	28.5%	8.7%	5.8%
愛着を感じる	76	14.0%	58.0%	18.9%	4.9%	4.2%
少し愛着を感じる	24	2.5%	51.2%	31.5%	8.4%	6.4%
あまり愛着を感じない	46	2.7%	26.0%	54.8%	11.0%	5.5%
愛着を感じない	58	0.0%	19.0%	23.8%	52.4%	4.8%

問 35 地域福祉の基盤整備を進めていくために、重要だと思うことはどれですか。【MA】

- 「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」(49.7%)が最も高く、「自治会(町内会など)を基盤とした地域の支え合いの仕組みの再構築」(35.5%)、「福祉サービスに関する情報提供や案内のさらなる充実」(30.2%)と続きます。

【その他一例】
 ・若年層、中年層向けには、町内会などに依存しない、ネット、メール、ラインを通じた地域福祉の情報提供、相談体制の構築が必要。自治会を基盤とした体制は、「知られたくないことが全部近所に知られてしまう」として、使いづらい。そのような状態を考慮した基盤整備が必要。「広報えさし」は若い人は読まない。ネットで検策したときに、広報えさしに載せた情報がすぐ出てくることが重要。
 ・きちんと話を聞いてあげられる人を育てる

No.		数	割合
1	自治会(町内会など)を基盤とした地域の支え合いの仕組みの再構築	207	35.5%
2	ボランティアの育成と活動の促進	83	14.2%
3	高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備	290	49.7%
4	認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力に支障がある人の権利擁護・後見活動の充実	158	27.1%
5	福祉サービスの提供拠点及び施設の整備	122	20.9%
6	福祉サービスの質を評価(第三者評価)するための仕組みづくり	71	12.2%
7	利用者の苦情解決の仕組みづくり	75	12.9%
8	福祉サービスに関する情報提供や案内のさらなる充実	176	30.2%
9	人権が尊重され、人と人とのつながりを大切にするための仕組みづくり	160	27.4%
10	福祉教育の充実	70	12.0%
11	その他	11	1.9%
12	特にない・わからない	77	13.2%
	無回答	49	8.4%
	回答者数	583	-



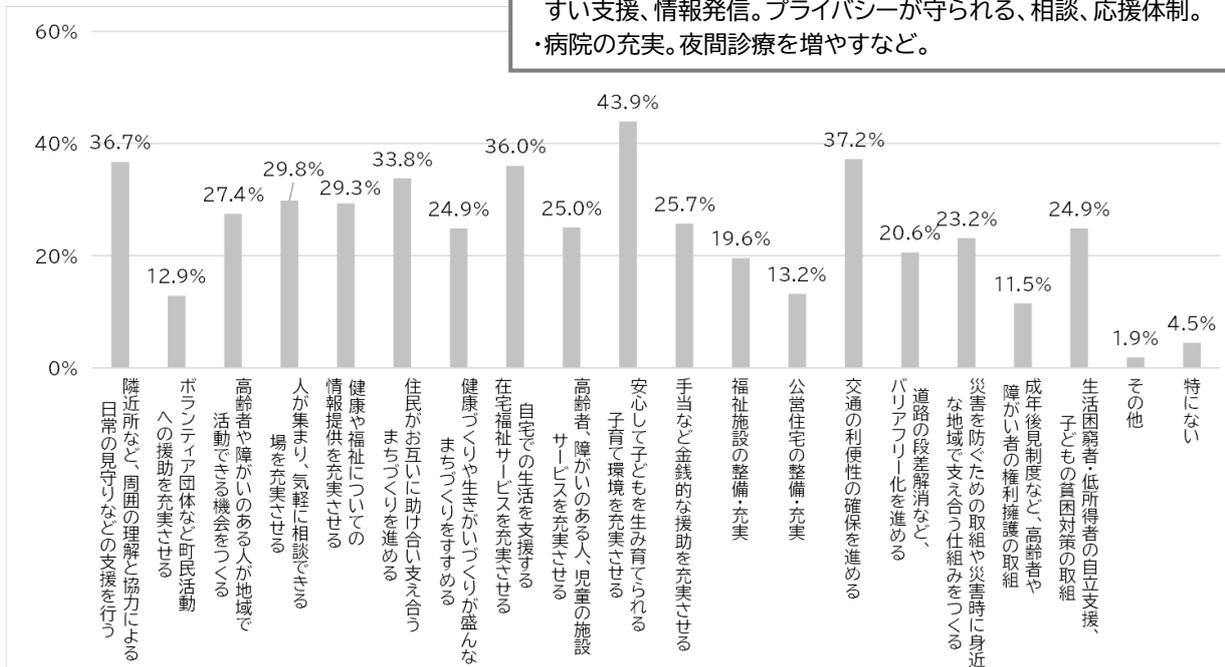
問 36 誰もが安心して暮らせる地域にするために、あなたが重要と考える取組はどれですか。
【MA】

- 「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」(43.9%) が最も高く、「交通の利便性の確保を進める」(37.2%)、「隣近所など、周囲の理解と協力による日常の見守りなどの支援を行う」(36.7%)、「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」(36.0%) と続きます。

No.		数	割合
1	隣近所など、周囲の理解と協力による日常の見守りなどの支援を行う	214	36.7%
2	ボランティア団体など町民活動への援助を充実させる	75	12.9%
3	高齢者や障がいのある人が地域で活動できる機会をつくる	160	27.4%
4	人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる	174	29.8%
5	健康や福祉についての情報提供を充実させる	171	29.3%
6	住民がお互いに助け合い支え合うまちづくりを進める(住民同士や行政との協力等)	197	33.8%
7	健康づくりや生きがいづくりが盛んなまちづくりをすすめる	145	24.9%
8	自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる	210	36.0%
9	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスを充実させる	146	25.0%
10	安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる	256	43.9%
11	手当など金銭的な援助を充実させる	150	25.7%
12	福祉施設の整備・充実	114	19.6%
13	公営住宅の整備・充実	77	13.2%
14	交通の利便性の確保を進める	217	37.2%
15	道路の段差解消など、バリアフリー化を進める	120	20.6%
16	災害を防ぐための取組や災害時に身近な地域で支え合う仕組みをつくる	135	23.2%
17	成年後見制度など、高齢者や障がい者の権利擁護の取組	67	11.5%
18	生活困窮者・低所得者の自立支援、子どもの貧困対策の取組	145	24.9%
19	その他	11	1.9%
20	特いない	26	4.5%
	無回答	32	5.5%
	回答者数	583	-

【その他一例】

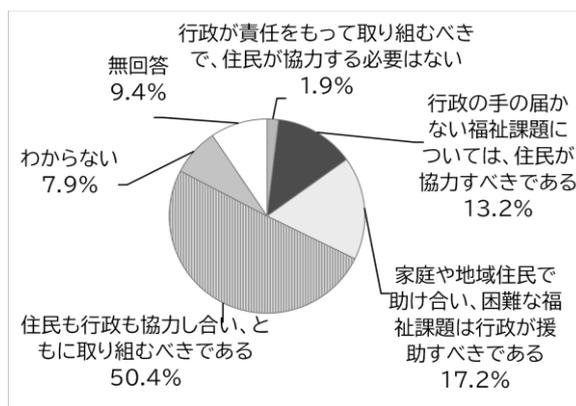
- ・若年層、中年層にもスポットを当てた、それらの年齢層で使いやすい支援、情報発信。プライバシーが守られる、相談、応援体制。
- ・病院の充実。夜間診療を増やすなど。



問 37 江差町では地域福祉を充実させていく上で、自助・共助・互助・公助の役割で活動する中で支え合い・助け合いを行っていくまちづくりを目指しています。地域福祉を充実させていく上で、行政と地域住民の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
【SA】

- 約5割が「住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」と回答しています。

No.		数	割合
1	行政が責任をもって取り組むべきで、住民が協力する必要はない	11	1.9%
2	行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力すべきである	77	13.2%
3	家庭や地域住民で助け合い、困難な福祉課題は行政が援助すべきである	100	17.2%
4	住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである	294	50.4%
5	わからない	46	7.9%
	無回答	55	9.4%
	回答者数	583	100.0%



江差町の地域福祉に関する問題点と感じていることや、地域福祉の向上に向けて制度化してほしいことなどご意見がございましたらご自由にお書きください。

- 記入のあった内容としては、子育て・若年層・障がい者・高齢者など支援の対象者ごとに関するもののほか、「地域の人同士のかかわり・きっかけづくりに関すること」、「情報発信や参加のきっかけづくりに関すること」、「情報の周知・発信に関すること」、「災害対策に関すること」、「役場への意見」などがみられました。以下、代表的な意見のうち、具体的な記述のあったものを掲載しています。

① 子育て・若年層への支援に関すること

- ◆ 東京都文京区、佐賀県、京都府などで実施しているこども宅食について、今年は二度ふるさと納税を行いました。
- ◆ 高齢者対策と並行して、それを支える若い世代の定着を図ること。①高校の進路指導部への地域雇用状況の情報提供。この方々は転勤族で、十分な情報が不足している（ハローワークだけに任せない）。②江差高看への地域推薦枠の確保（江高から5名程度）。③高卒求人の正社員化を雇用主へ呼びかける。④企業雇用後の専門学校進学促進。
- ◆ 共働きしないと生活ができないから乳幼児の頃から保育園に預けているが、保育料が高すぎて共働きの意味がない。
- ◆ 小さな子どもが安心して遊べる場所を作ってほしい。
- ◆ 保育料は引き落としができるのに、なぜ学童は引き落としではないのですか？ 仕事、平日休みは、ほとんどなく間に合いません。
- ◆ 小さい子が遊べる場や知り合いができるコミュニティもなく、転勤してしばらくはすごく孤独でした。コロナ禍なので仕方がない点もありますが、遠くの公園まで行っても大体誰にも会わず、家族としか話さない日が続いたのはつらかったです。

② 障がい者支援に関すること

- ◆ 障がいのある方に、利用できる施設を紹介し、外に出て賃金をいただいたり、会話等をしたり、何が必要かを知ることが大事ではないでしょうか。家族が近くにいない場合、孤立の防止にもなる。
- ◆ 私は50代の生保受給者です。年が若いのもあって近所の偏見が辛い。視力に大きな問題がありますが、住宅の（町営）街灯が壊れていて夜間の歩行が困難。傷病がありますが、外見では分かりづらいため、本当に偏見が辛いです。
- ◆ もう少し、障害者が働けられるようにしてほしい。保護を受けているので、お金をかけたくない。もう少し、役に立つことしてほしい。障害年金をもらえないので、何とかしてほしい。

③ 高齢者支援に関すること

- ◆ 高齢化が進む中、独居老人が増えていくと思うので、近所やケースワーカー等による見守り活動が重要となっていくと思います。家の中で倒れていることを想定した、家の中の確認方法（合鍵、窓を破壊する等）についても検討していく必要もあるかと思っています。
- ◆ 農作物など、廃棄するほどのものが出るのであれば、自由に（やり方は考えて）持ち帰ることができるようにすると、助かる家庭もあると思う。電化製品、日用品etc.についても、廃棄するものの品質を吟味して、手直しして（老人クラブなど援助を得て）分配できるようにすると思う。
- ◆ パークゴルフが老若男女問わず、ボケ防止、健康維持向上に役立っていると思われます。…ので、健康保健（税、病院にかかる）との因果関係を調べてみてはいかがでしょうか。
- ◆ 医療に従事している者です。病院では90代や予後不良の方でも、治療を望めば最善を尽くします。苦痛を伴っても。人生の最期をどのように迎えたいと思うのか、高齢の方は自分で考えておくべきだと考えます。そんなセミナー開催をして、自助の部分を意識してほしいと思います。
- ◆ 交通の便というか、買い物等の移動手段。例えばトドック（宅配便）の注文用の番号の書き違い、生ものは返品できない。本人はスーパー等で現物を見て買いたい。週に二度ぐらいの買い物バスの定期運行は（買い物仲間のふれあいつながり、安否の様子）。
- ◆ 介護保険料が道内他町に比べ、突出して高い。施設使用サービスの利用量の増加とあるが、高齢者の利用施設が他町と比べて、突出して多いと思えない。これ以上の希望・要望をしたら、ますます保険料が負担増となれば、江差町民に何かが起こりかねないので。
- ◆ 高齢者が多い町なので、手軽な交通手段をもう少し充実させた方が良いと思います。仕事柄、高齢の方と接する機会が多いのですが、コロナ禍であることも含めて、外出しなくなり、他人と話さなくなり、歩くのも億劫で、だんだんと認知症のような症状が見られる人が少なくありません。外との接触を絶っていると、急な老いを感じる気がしています。町内巡回バス（100円や50円で乗れるような）を、今あるバス停とは関係なく様々な場所に停車させ、交流や外出、買い物に出やすい仕組みを作っていくことが、必要なのではないかと思います。
- ◆ 高齢者のための福祉は充実してきていると思いますが、介護用品を業者から購入した際、市場より高額で、利用者負担の外は税金で補っているのでは、元の価格の高さに驚いた。それは江差町だけというより、国が介護サービスに携わる民間業者のチェックを含め、仕組みを疑問に思いました。それとこれからは、高齢者より子どもを見守る福祉をもっと充実させてほしいと願います。そして、介護や子育てに関して気軽に相談できる支援の発信も必要と思います。我々が払っている介護保険料も少し子どもの福祉の方へもまわしてくれたら良いなあと思ったりしました。子ども対象の施設が少ないと思う。
- ◆ 春夏秋冬ごとに、4回は学習会的なことを行う必要がある。60代、70代、80代以上のグループで交流的な話し合いが必要。
- ◆ 高齢者にとっては、あらゆる税金が高くなっている。生活レベルが低下するのみです。

④ 地域の人同士のかかわり・きっかけづくりに関すること

- ◆ 町内会活動など、なり手不足や高齢化で破たん寸前なので、活動はなくてもよいのではないのでしょうか？「近くの住民同士がつながって」ではなく、「同じ志を持った住民同士がつながって」の方がより良い活動ができると思う。江差町内にはたくさんの野良猫がいて、無責任にえさだけやる人がいるので、指導して避妊手術をして、さくら猫活動をしたい。他の自治体でも、保護猫活動でふるさと納税をやっているのので、江差町のイメージアップにもつながると思う。
- ◆ やはり、近所との付き合いが大切だと思う。友達や子どもはいるけれども、いざとなったら隣組ではないけれども、見ている人がそばにいると良いと思う。私は病氣して初めて、町内の人達が無関心と思った。
- ◆ 昔から住んでいる人たちのつながりが強く、声をかけ合ったりできることは良いことだと思います。が、外から来た者にとっては少々入りづらい雰囲気があり、来た当初はどうか頑張ろうと思えたのですが、だんだんそれも面倒に感じてきてしまい、町内会等の行事も参加しなくなりました。もちろん私の性格上の問題もあるので一概には言えませんが、同年代も少なく、いたとしても子どもがいる、いないで話も合わず…、と正直住みづらいなあと感じています。
- ◆ 町内会での見守りは大事ですが、10年後はできていても人口減で20年後はできなくなっていると思います。居住地を集約するか、福祉拠点で担う範囲を広げて集約するか、将来を見据えた体制を作っていかなければならないと思います。自分が福祉サービスに頼らなければならなくなる頃には、町内会は何も助けにならないと思います（この近所では）。
- ◆ 江差町はお互い顔見知りが多いようなので、見守りや援助などの場合、本人のプライバシーや人権にふれる場合が危惧されます。民生委員の方は、毅然として守ってほしい。町の施設を利用することもあります。高齢者や障害のある人に使いやすいよう、入口の手すりや腰かけ、そして備品は軽いものにしてほしい。

⑤ 情報の周知・発信に関すること

- ◆ 「地域福祉」について、分かりやすいパンフレットや情報が手元にあると、より理解しやすいと思います。
- ◆ ①民生委員の活動状況が見えていない。②真に必要な人（困窮者）に目配り、気配りを行ってほしい。
- ◆ 地域福祉とはどんなイメージかを、分かりやすく、それぞれ受けとめやすいように、情報発信すると良いかと。日常考えていない言葉であり、身近になりにくい。自治会毎の活動等からイメージしやすいような説明も良いのかもしれませんが。みんな、自助で手一杯になるわけで、共助や互助の意味の具体性が描けると、町民に伝わりやすいでしょう。転出せず、暮らし続けてくれるためのアイデアは、早急に具体化が必要と感じています。

- ◆ 高齢者を主なターゲットとした施策が多すぎる。若年層に残ってほしければ、より若年層に対する情報発信や施策が必要。人の氏素姓をすぐ知りたがる町民気質があり、そういう町民を基盤として福祉の充実を図ろうとすれば、本当に困っている人が相談できないことになってしまう。「近所に知られずに相談できる」体制を整備すべき。町民ライン、メール等による相談体制をより充実すべき。
- ◆ 色々な制度はあるかもしれないが、よく分からないことが多いと思います。町カフェもよく分かりません。ただ、仲の良い人の集まりのように感じます。すべてにおいて、参加しやすい制度がほしいと感じます。
- ◆ 若い人は、広報を読んでいるのでしょうか？ ネットの使用が難しいので、私は広報を読んで分らないことがあったら、役場にTELして聞いています。自分に何かあったら、親、友人、何かあったらと考えたときのために、情報は必要だと思います。

⑥ 災害対策に関すること

- ◆ 災害時の避難場所について、私は津花町に住んでいます。公民館が避難場所ですが、数年前の図上訓練のときにも町内の方々から意見が出ていましたが、北前坂ができる以前の避難場所から公民館でしたが、現在のカーブの坂を横切り、階段等を登る避難は無理です。何度も行政にお願いしていますが、改善されません。災害になってからでは困ります。速やかに検討して下さい。
- ◆ 設問4・災害時の対応についての関連意見として。地域福祉の向上を図る上で、最も重要なことは災害対策と考えます。江差町内で高齢者（65歳以上）人口や独居老人世帯が総人口の何%を占めているかは、はっきり把握しておりませんが、特に私ども80歳を超えた高齢者や独居老人は、スマートフォン、タブレット、PC等を操作できる人は少ないのではないかと思います。緊急災害の発生、事前情報はテレビ等で把握できますが、町内の水害、土砂崩れ、地震、津波、火災、交通事故、海難災害、コロナ感染等、高齢者だけでなく、地域住民が把握することは現状では困難です。こうした事項を把握し、周知する行政機関（江差町・振興局・警察・消防、海保・測候所・保健所等）の情報を家庭にいても即座に知ることができる情報システム等の設置を全世帯に設備・運用することが急務であると考えます。

⑦ 役場への意見

- ◆ ワクチン接種は、コールセンターではなく、町独自で行うべきだったと思う（他町よりずっと遅れている）。給食費の無償化。
- ◆ 問37で答えたように、“まずは”行政が福祉の充実について深く考え、取り組むべきだと思う。先導するリーダーがいなければ、後に続く人間もただの烏合の衆でしかない。住民が率先して福祉の充実に取り組める環境や条件が抽象的すぎて、関心が向かない。社会全体に言えることだが、本当に地域福祉を充実させたいのであれば、ある程度の強制力は必要だと考えます。そのためにも、プロフェッショナルなリーダーの育成は急務と考えます。
- ◆ 行政同士の連携をもっと密にしてほしい。役場の課同士も「あっちの課で話しても、こっちの課では分からない」とか、社協さんに伝えても、役場の方では知らないなど公的サービスを受けようとすると結構な頻度で直面する。あっちに行って、こっちに行くと、わけが分からなくなってしまう。
- ◆ 役所に話せば何でもやってもらえると思っている人が多い気がする。情勢の変動での業務の増加。それらの対応に追われて、重要なことができていないと思うので、サービスの充実に伴う業務の増などは、外注などで行うことで、どちらも質の高いサービス提供をできればと。
- ◆ 町の方へ簡単な要請（例として、避難階段の除草等）をしているが、対応ができていない。 ※予算・人的対応の問題があると思うが、簡単にできることはすぐ実施すべきと思う。
- ◆ 行政に情報を提供したら、高齢者や独居老人に来てもらうのではなく、行政が直接対象者宅に出向いて相談にのってあげてほしい。生活困窮者、低所得者への自立支援を強化、必要な人・そうでない人の区別がないので、生活保護に頼る人が多いと思う。若者や働ける人には働ける仕事を与え、偽装受給を減らし、税金を有効に使ってほしい。
- ◆ 高齢者福祉（包括支援センター）は、役場から社協に一括して委託することで社協の存在意義を明確にし、役場と役割分担すべき。

Ⅲ 調査結果からみた江差町の現状と課題

Ⅰ 江差町に対する愛着度

- 問8の結果をみると、江差町に何かしら愛着を感じている方（「愛着を感じている」・「少し愛着を感じている」と回答した方の合計）の割合は、高齢になるにつれ高くなっており、居住年数では30年以上の方に特に愛着が高くみられます。
- 転入した方よりも、生まれが江差町（Uターン含む）の方のほうが、地域への愛着が高い傾向がみられます。

問8 あなたは、江差町にどの程度愛着をお持ちですか。【SA】※再掲

		回答者数	感じて 愛着を している	少し 愛着を 感じて いる	愛着を 感じ て いない	あまり 愛着を 感じ ない	無 回 答
全体		583	45.3%	34.8%	12.5%	3.6%	3.8%
年代	20・30 歳代	66	21.2%	48.5%	19.7%	9.1%	1.5%
	40 歳代	94	35.1%	40.4%	17.0%	4.3%	3.2%
	50 歳代	82	32.9%	39.0%	22.0%	4.9%	1.2%
	60 歳代	110	44.5%	38.2%	10.9%	1.8%	4.5%
	70 歳代	136	61.8%	25.0%	8.1%	0.7%	4.4%
	80 歳以上	89	62.9%	28.1%	3.4%	3.4%	2.2%
居住き っかけ	生まれたときから住んで いる	190	62.6%	25.8%	7.4%	1.1%	3.2%
	Uターンして住んでいる	97	45.4%	33.0%	14.4%	6.2%	1.0%
	江差町出身ではないが、 転入して住んでいる	289	34.9%	41.9%	15.6%	4.5%	3.1%
居住 年数	5 年未満	76	19.7%	44.7%	25.0%	9.2%	1.3%
	5 年以上 10 年未満	24	20.8%	58.3%	8.3%	12.5%	0.0%
	10 年以上 20 年未満	46	37.0%	39.1%	21.7%	0.0%	2.2%
	20 年以上 30 年未満	58	31.0%	48.3%	10.3%	3.4%	6.9%
	30 年以上	371	56.3%	29.1%	9.7%	2.2%	2.7%

2 江差町における問題点、不足していると思うもの

- 問11の結果をみると、全体の約3割が「身近な交通手段がないこと」を選択しており、最も問題視されていると考えられますが、年齢別にみると、高齢者よりもむしろ若年層のほうがその課題感が高くみられます。
- 「近所付き合いが減っていること」、「他人に干渉されプライバシーが守られないこと」の回答については、50歳代以下、60歳代以上の層で相反する傾向がみられ、こうした世代間ギャップを包括できるような取組も必要であるといえます。

問11 現在、江差町における問題点、不足していると思うものは何ですか。【MA】※再掲

	回答者数	近所付き合いが減っていること	町内会や自治会の活動に参加しにくい雰囲気があること	ひとり親家庭、障がい者家庭への偏見があること	他人に干渉されプライバシーが守られないこと	地域に関心のない人が多いこと	地域活動への若い人の参加が少ないこと	地域での交流機会が少なくなること
全体	583	19.9%	16.1%	3.8%	14.8%	18.4%	22.0%	19.0%
20・30歳代	66	6.1%	13.6%	4.5%	25.8%	10.6%	7.6%	18.2%
40歳代	94	6.4%	16.0%	7.4%	18.1%	13.8%	23.4%	14.9%
50歳代	82	8.5%	18.3%	1.2%	22.0%	18.3%	19.5%	17.1%
60歳代	110	24.5%	20.0%	4.5%	9.1%	20.0%	25.5%	20.0%
70歳代	136	30.9%	14.7%	2.2%	9.6%	19.1%	30.1%	18.4%
80歳以上	89	32.6%	13.5%	3.4%	12.4%	24.7%	18.0%	25.8%

	回答者数	助け合い、支え合いが不足していること	身近な交通手段がないこと	就労・雇用と福祉の連携がしにくいこと	福祉サービス（児童福祉・高齢福祉・障がい福祉など）が不足していること	その他	特にない	無回答
全体	583	14.2%	30.7%	13.6%	15.8%	7.0%	15.3%	6.3%
20・30歳代	66	9.1%	39.4%	18.2%	19.7%	9.1%	21.2%	4.5%
40歳代	94	12.8%	35.1%	22.3%	16.0%	14.9%	18.1%	3.2%
50歳代	82	9.8%	37.8%	13.4%	11.0%	9.8%	14.6%	3.7%
60歳代	110	16.4%	30.0%	20.0%	18.2%	7.3%	10.0%	8.2%
70歳代	136	14.0%	22.1%	5.1%	9.6%	1.5%	16.2%	5.9%
80歳以上	89	21.3%	28.1%	6.7%	24.7%	3.4%	14.6%	7.9%

3 江差町からの福祉や健康に関する情報発信

- 問14の結果をみると、江差町からの福祉や健康に関する情報を入手できていない（「まったく入手できていない」・「ほとんど入手できていない」と回答した方の合計）割合は全体の約2割を占めています。
- 年代別では、40歳代以下は約3割、50歳代は約2割、60歳代以上は1割前後と、年代の若い方がより入手できていない比重が高くなっており、こうした年代の低い方に向けた情報発信の充実が課題といえます。

問14 あなたは、福祉や健康に関する情報を江差町から十分に得られていると思いますか。【SA】※再掲

	回答者数	十分な情報を 入手できている	十分ではないが、 ある程度の情報を 入手できている	情報をほとんど 入手できていない	情報をまったく 入手できていない	無回答
全体	583	12.3%	66.2%	15.4%	3.3%	2.7%
20・30歳代	66	9.1%	57.6%	27.3%	6.1%	0.0%
40歳代	94	13.8%	55.3%	25.5%	4.3%	1.1%
50歳代	82	13.4%	68.3%	15.9%	1.2%	1.2%
60歳代	110	8.2%	75.5%	12.7%	0.9%	2.7%
70歳代	136	17.6%	69.9%	5.9%	0.7%	5.9%
80歳以上	89	9.0%	67.4%	13.5%	9.0%	1.1%

- 問15の結果をみると、福祉や健康についての情報や知識は「広報えさし・江差町ホームページ」から入手している割合が最も高く、「家族・友人・知人を通じて」、「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」と続きます。
- 年代別では、70歳代以下では「広報えさし・江差町ホームページ」、80歳以上では「家族・友人・知人を通じて」となっており、80歳を超えると広報等を読む割合が下がっており、地域や専門職等を通じた情報発信・伝達方法を検討する必要があります。また、40歳代以下の「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」と「インターネット（町ホームページ以外）」を回答した割合が同程度となっており、若年層に向けては広報以外の情報発信の充実も必要と考えられます。

問15 あなたは、福祉や健康についての情報や知識はどのようにして得ていますか。【MA】※再掲

	回答者数	家族・友人・知人を通じて	福祉施設やケアマネジャー・ヘルパーなどを通じて	民生委員・児童委員を通じて	社会福祉協議会の窓口	福祉だより（社会福祉協議会広報誌）	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ	町の職員や役場窓口	広報えさし・江差町ホームページ
全体	583	51.1%	8.9%	1.9%	1.0%	17.0%	45.5%	7.7%	63.3%
20・30歳代	66	48.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	34.8%	7.6%	63.6%
40歳代	94	48.9%	5.3%	3.2%	0.0%	18.1%	29.8%	8.5%	59.6%
50歳代	82	42.7%	8.5%	1.2%	0.0%	14.6%	34.1%	7.3%	68.3%
60歳代	110	50.0%	5.5%	0.0%	0.9%	18.2%	53.6%	5.5%	77.3%
70歳代	136	55.9%	13.2%	2.9%	2.2%	21.3%	57.4%	9.6%	62.5%
80歳以上	89	57.3%	18.0%	3.4%	2.2%	21.3%	53.9%	6.7%	49.4%

	回答者数	インターネット（町ホームページ以外）	その他	情報の入手方法がわからない	無回答
全体	583	16.3%	0.7%	2.2%	1.9%
20・30歳代	66	34.8%	4.5%	1.5%	0.0%
40歳代	94	33.0%	0.0%	4.3%	0.0%
50歳代	82	20.7%	1.2%	2.4%	0.0%
60歳代	110	14.5%	0.0%	0.9%	2.7%
70歳代	136	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%
80歳以上	89	2.2%	0.0%	5.6%	1.1%

4 地域での活動・ボランティア活動への参加状況・今後の意向

- 問17・問18の結果をみると、地域での活動・ボランティア活動へ現在参加している方は、年代でみると50歳代以上、居住年数でみると20年以上の方の割合が、約4割と高くなっています。
- 今後の参加（継続）意向を持っている方は、40歳代以下の若い年代層の方や居住年数が短い方でも一定数いることがうかがわれます。

問17 あなたは、地域での活動（町内会や自治会・子ども会・老人クラブなどのお住まいの地域を対象とした活動）やボランティア活動（本アンケートでは自主的・自発的な無償の活動）に参加していますか。【SA】※再掲

		回答者数	参加している	参加していない	無回答
全体		583	35.0%	62.4%	2.6%
年代	20・30歳代	66	15.2%	84.8%	0.0%
	40歳代	94	22.3%	77.7%	0.0%
	50歳代	82	36.6%	62.2%	1.2%
	60歳代	110	36.4%	60.9%	2.7%
	70歳代	136	49.3%	47.8%	2.9%
	80歳以上	89	39.3%	57.3%	3.4%
居住年数	5年未満	76	9.2%	90.8%	0.0%
	5年以上10年未満	24	20.8%	79.2%	0.0%
	10年以上20年未満	46	21.7%	78.3%	0.0%
	20年以上30年未満	58	37.9%	58.6%	3.4%
	30年以上	371	42.6%	54.7%	2.7%

問18 あなたは今後、地域活動やボランティア活動に参加（継続）したいと思いますか。【SA】※再掲

		回答者数	（継続）ぜひ参加したい	（継続）できれば参加したい	（継続）あまり参加したいとは思わない	参加（継続）したいとは思わない	無回答
全体		583	7.4%	39.1%	30.4%	16.6%	6.5%
年代	20・30歳代	66	6.1%	30.3%	47.0%	16.7%	0.0%
	40歳代	94	8.5%	35.1%	38.3%	17.0%	1.1%
	50歳代	82	3.7%	51.2%	29.3%	14.6%	1.2%
	60歳代	110	6.4%	44.5%	30.0%	10.9%	8.2%
	70歳代	136	7.4%	41.9%	25.0%	13.2%	12.5%
	80歳以上	89	11.2%	28.1%	21.3%	30.3%	9.0%
居住年数	5年未満	76	7.9%	34.2%	36.8%	18.4%	2.6%
	5年以上10年未満	24	8.3%	29.2%	33.3%	29.2%	0.0%
	10年以上20年未満	46	2.2%	39.1%	37.0%	21.7%	0.0%
	20年以上30年未満	58	3.4%	48.3%	32.8%	15.5%	0.0%
	30年以上	371	8.6%	39.9%	27.5%	15.4%	8.6%

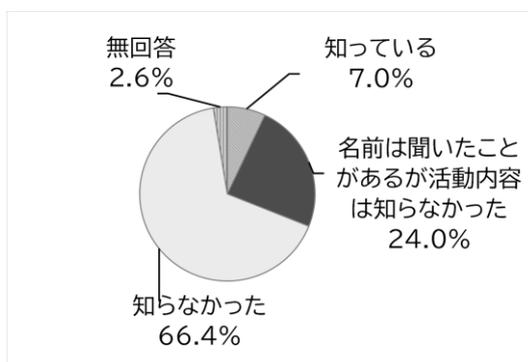
- 問19の結果をみると、地域活動やボランティア活動の輪を広げるために、今後重要だと思うことについては、年代に関わらず「活動内容を知らせる広報を充実する」が最も高くなっており、周知が十分でないと考え住民が多いと考えられます。
- 問20の結果をみると、「江差町ボランティアセンター」の活動を「知らなかった」が約6割、「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らなかった」が約2割となっており、江差町ボランティアセンターの活動の認知度は低い状況です。ボランティアセンターの活動等を周知する取組が必要と考えられます。

問 19 地域活動やボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが重要だと思いますか。
【MA】※再掲

	回答者数	活動の内容を知らせる 広報を充実する	地域での学習・活動を調 整する人材を育成する	地域での学習・研修の機 会や内容の充実を図る	資金面の援助を 充実する	学校での福祉教育を 充実する	地域の福祉の実態を 町民に伝える	その他	無回答
全体	583	52.1%	24.5%	20.1%	20.2%	10.3%	26.9%	4.5%	14.2%
20・30 歳代	66	53.0%	34.8%	33.3%	31.8%	12.1%	13.6%	4.5%	7.6%
40 歳代	94	50.0%	28.7%	16.0%	29.8%	11.7%	20.2%	5.3%	6.4%
50 歳代	82	56.1%	23.2%	19.5%	20.7%	11.0%	28.0%	4.9%	3.7%
60 歳代	110	59.1%	26.4%	16.4%	20.0%	9.1%	30.9%	4.5%	11.8%
70 歳代	136	50.0%	15.4%	19.1%	14.0%	7.4%	27.9%	2.9%	22.8%
80 歳以上	89	44.9%	25.8%	19.1%	7.9%	10.1%	37.1%	5.6%	25.8%

問 20 「江差町ボランティアセンター」の活動について、知っていますか。【SA】※再掲

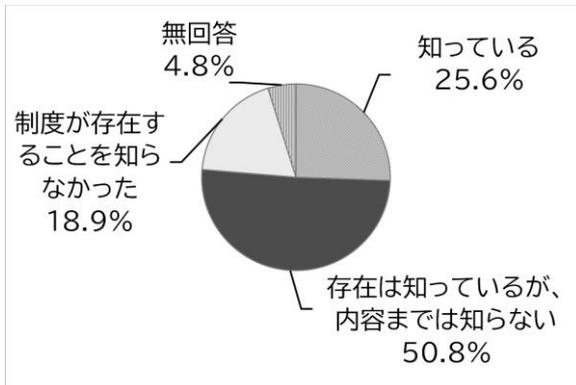
No.		数	割合
1	知っている	41	7.0%
2	名前は聞いたことがあるが 活動内容は知らなかった	140	24.0%
3	知らなかった	387	66.4%
	無回答	15	2.6%
	回答者数	583	100.0%



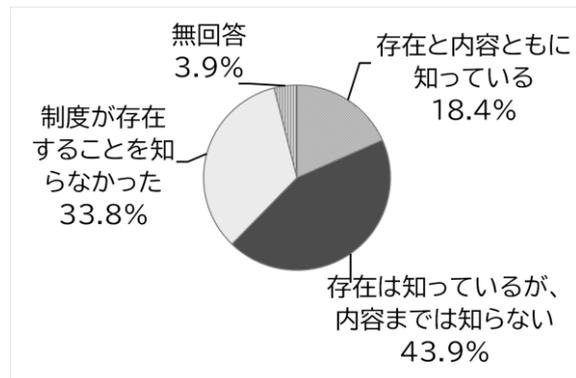
5 福祉に関わる制度等の認知度について

- 「制度が存在することを知らなかった」と回答した割合は、「成年後見制度」では約2割、「日常生活自立支援事業」では約3割います。

成年後見制度（問 25）※再掲

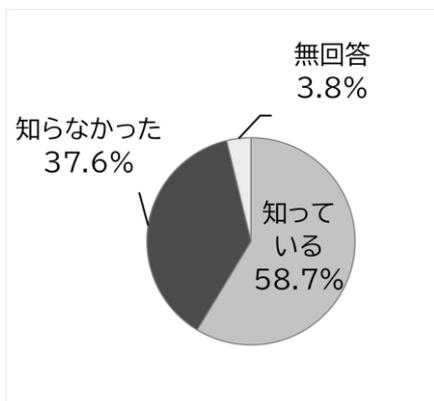


日常生活自立支援事業（問 27）※再掲

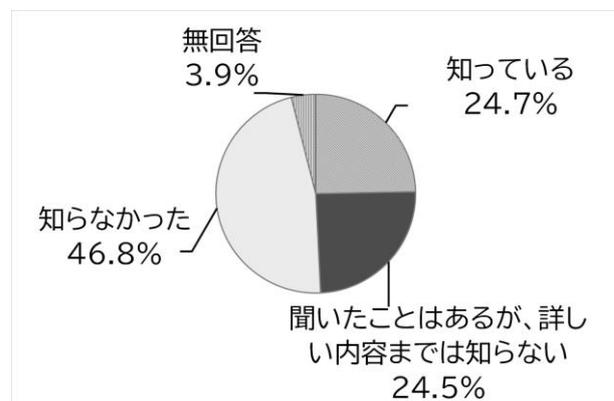


- 「知らなかった」と回答した割合は、虐待を知った場合の通報義務、ヤングケアラーともに4割前後となっています。

虐待を知った場合の通報義務（問 24）※再掲

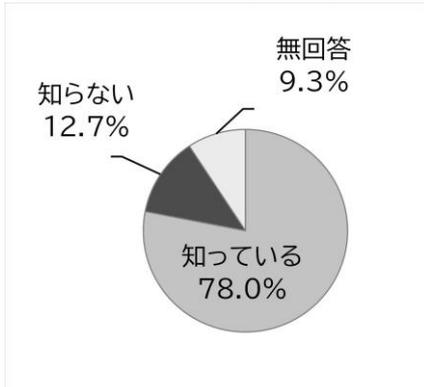


ヤングケアラー（問 28）※再掲

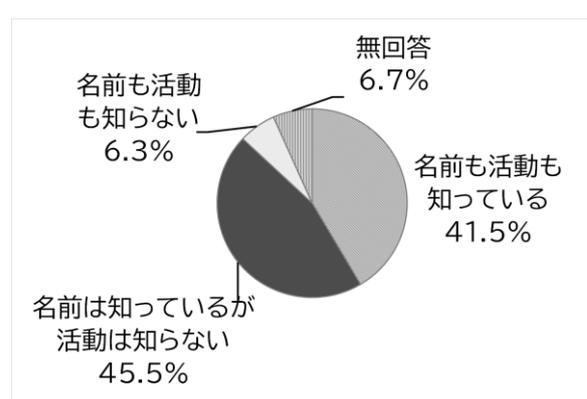


- 約1割が、民生委員・児童委員について「知らない」と回答しています。また、江差町社会福祉協議会については約4割が「名前も活動も知らない」と回答しています。

民生委員・児童委員（問 31）※再掲



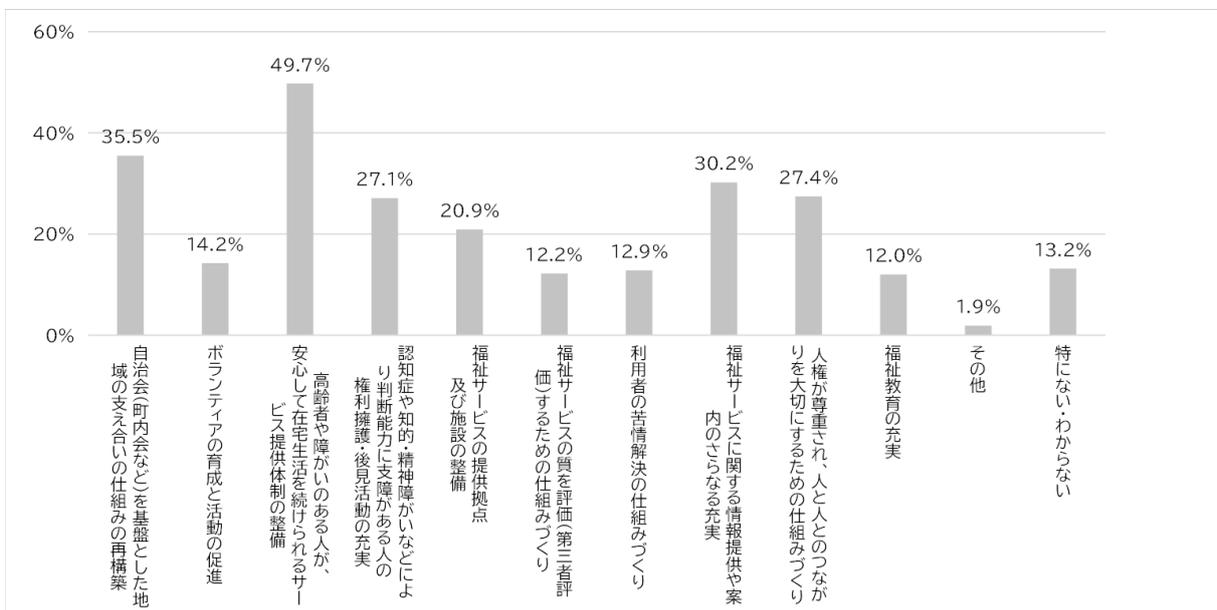
江差町社会福祉協議会（問 32）※再掲



6 地域福祉の今後の取組について

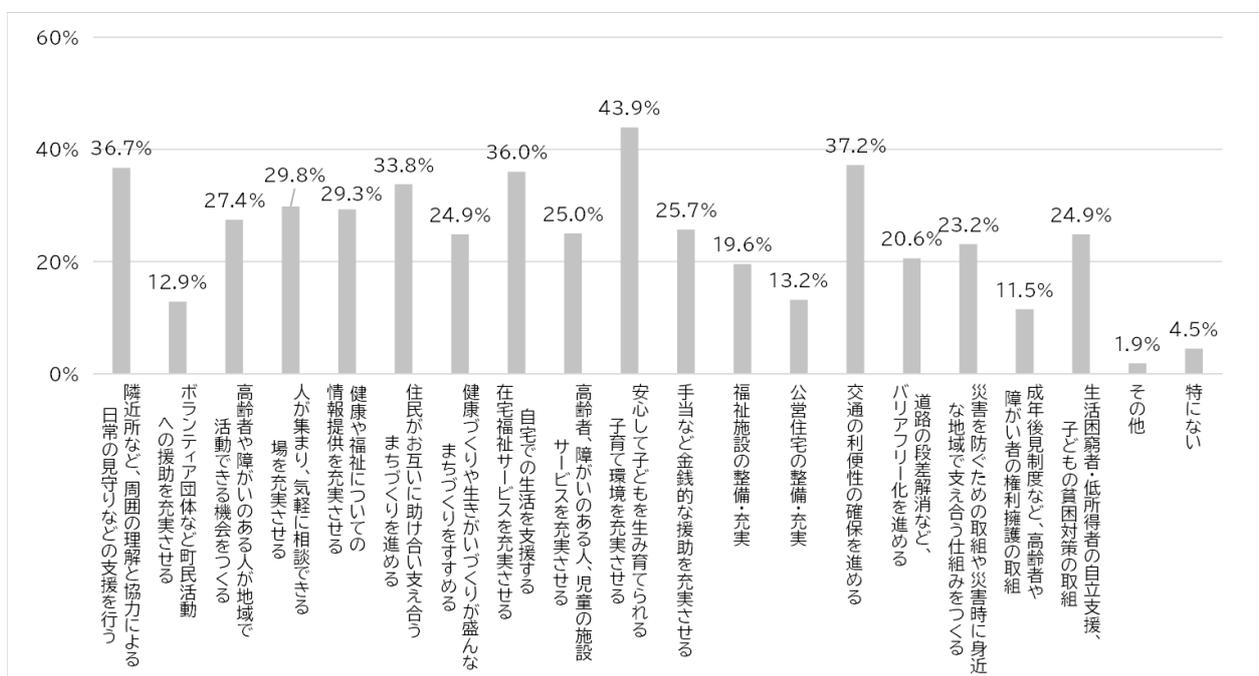
- 問35の結果をみると、地域福祉の基盤整備を進めていくために重要だと思うこととしては、約5割が「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」、約4割が「自治会（町内会など）を基盤とした地域の支え合いの仕組みの再構築」、「福祉サービスに関する情報提供や案内のさらなる充実」と回答しています。
- 地域福祉に重要なものとしては、地域のつながりや情報発信よりも、福祉サービスの充実が喫緊の課題であると考えられる傾向がみられます。

問 35 地域福祉の基盤整備を進めていくために、重要だと思うことはどれですか。【MA】※再掲



- 問36の結果をみると、誰もが安心して暮らせる地域にするために重要と考える取組としては、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が最も高くなっています。
- その他に「交通の利便性の確保を進める」、「隣近所など、周囲の理解と協力による日常の見守りなどの支援を行う」、「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」が約4割と、次いで高くなっています。
- 誰もが安心して暮らせるためには、交通利便や地域の見守りよりもまずは子育て環境の充実と考える傾向がみられます。

問36 誰もが安心して暮らせる地域にするために、あなたが重要と考える取組はどれですか。【MA】※再掲



IV 調査票

不幸ゼロのまちに向けた

地域福祉のためのアンケート

皆様には、日頃から江差町政にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

江差町では、令和4年度～令和8年度を期間とする「第5期江差町地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。この計画は、共働きの増加や高齢化によって変わってきた地域の環境を踏まえ、新たな時代に適した江差町の地域福祉のあり方を示すものです。地域福祉がよりよくなることで、不幸ゼロのまちへとつながります。

計画策定にあたっては、町民の皆様の福祉についてのお考えやご意見をうかがい、計画に反映させていきたいと考えています。

つきましては、町内にお住まいの20歳以上の方を対象にアンケート調査を実施します。本調査は無記名で実施し、統計的な処理をするもので、個人の名前を出したり、調査の目的以外で使用したりすることは一切ありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の主旨をご理解の上、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年8月

江差町長 照井誉之介

ご記入にあたって

アンケートの対象者

- 江差町在住の20歳以上の町民1,500名を無作為に選び、調査票を送付しています。
- できる限りあて名のご本人がお答えください。ご本人の調査票記入が難しい場合は、ご家族が代筆いただいてもけっこうです。
- 無記名調査ですので、調査票に回答した方のお名前の記入は必要ありません。

回答方法

- 選択式の設問は、あなたのお考えにあてはまる番号を選び○印をご記入ください。
- 記述式の設問は、あなたのお考えをまとめ、回答欄にご記入ください。

締め切りと返送方法

- この調査票は同封の返信封筒により、**令和3年8月18日(水)**までにご投函ください。**(切手は不要です。)**

このアンケートについてのお問い合わせ先

江差町役場 町民福祉課 福祉子育て係

電話：(0139) 52-6720

Ⅰ あなた自身のことについてうかがいます。

問1 あなたの性別についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 20～24 歳 | 6. 45～49 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 | 12. 75～79 歳 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 | 13. 80 歳以上 |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳 | |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 | |

問3 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 単身(ひとり暮らし)世帯 | 4. 親子孫3世代同居世帯 |
| 2. 夫婦のみの世帯 | 5. 兄弟・姉妹のみの世帯 |
| 3. 親子2世代同居世帯 | 6. その他
() |

問4 あなたがお住まいの地区(小学校区)を教えてください。
(通学区域を参考に、1～3のうちあてはまるもの1つに○)

地区 (以下のうち1つに○)	【参考】通学区域
1. 江差小学校区	新栄町・愛宕町・豊川町・東山・桧岱・中歌町・姥神町・鷗島・津花町・上野町・橋本町・本町・新地町・緑丘・茂尻町・円山※・陣屋町※・海岸町※
2. 南が丘小学校区	南浜町・柏町・南が丘・萩ノ岱・砂川・榎川町・円山※・陣屋町※・海岸町※
3. 江差北小学校区	大潤町・泊町・尾山町・田沢町・伏木戸町・柳崎町・五厘沢町・水堀町・越前町・中網町・小黒部町・朝日町・鍼川町

※円山・陣屋町・海岸町については、以下の地区は南が丘小学校区にあたります。

円山32番地1、7、14、15、19～23、27、29、35、46、33番地9、182番地5、6

円山32番地6及び5を結ぶ地域

陣屋町35番地、129番地13～21、157～158番地

海岸町3番地及び64番地の線を結ぶ以南の地域

問5 あなたは、江差町に住み始めて何年になりますか。
(1つに○、「2.」「3.」には年数を記入)

- | |
|---------------------------|
| 1. 生まれたときから住んでいる |
| 2. Uターンして()年になる |
| 3. 江差町出身ではないが、転入して()年になる |

問6 現在、あなたが買い物をする際の手段は何ですか。(主なもの3つまで○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 徒歩で店に行く | 8. 買い物代行サービスを利用 |
| 2. 自転車で店に行く | 9. 通信販売(インターネット等)を利用 |
| 3. バイクで店に行く | 10. 宅配サービスを利用 |
| 4. 自動車(自分で運転)で店に行く | 11. 移動販売を利用 |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう)で店に行く | 12. その他 |
| 6. 路線バスで店に行く | () |
| 7. タクシーで店に行く | |

問7 あなたは買い物をする際、理想としてはどのような手段を利用したいですか。
(主なもの3つまで○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 徒歩で店に行く | 8. 買い物代行サービスを利用 |
| 2. 自転車で店に行く | 9. 通信販売(インターネット等)を利用 |
| 3. バイクで店に行く | 10. 宅配サービスを利用 |
| 4. 自動車(自分で運転)で店に行く | 11. 移動販売を利用 |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう)で店に行く | 12. その他 |
| 6. 路線バスで店に行く | () |
| 7. タクシーで店に行く | |

2 地域での生活についてうかがいます。

問8 あなたは、江差町にどの程度愛着をお持ちですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 愛着を感じている | 3. あまり愛着を感じていない |
| 2. 少し愛着を感じている | 4. 愛着を感じない |

問9 あなたは、近所とのお付き合いをどの程度していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 何か困ったときに、助け合える程度 | 4. あいさつをする程度 |
| 2. お互いに、訪問し合う程度 | 5. ほとんど付き合いはない |
| 3. 立ち話をする程度 | 6. 近所にどんな人が住んでいるかわからない |

問10 あなたは、現在の近所とのお付き合いに満足されていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 3. どちらかという満足していない |
| 2. どちらかという満足している | 4. 満足していない |

問11 現在、江差町における問題点、不足していると思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|--|
| 1. 近所付き合いが減っていること | 7. 地域での交流機会が少ないこと |
| 2. 町内会や自治会の活動に参加しにくい雰囲気があること | 8. 助け合い、支え合いが不足していること |
| 3. ひとり親家庭、障がい者家庭への偏見があること | 9. 身近な交通手段がないこと |
| 4. 他人に干渉されプライバシーが守られないこと | 10. 就労・雇用と福祉の連携がしにくいこと |
| 5. 地域に関心のない人が多いこと | 11. 福祉サービス(児童福祉・高齢福祉・障がい福祉など)が不足していること |
| 6. 地域活動への若い人の参加が少ないこと | 12. その他
() |
| | 13. 特になし |

問12 あなたは日常生活の中で困りごとはありますか。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. ある ⇒問 12-1 へ | 2. ない ⇒問 13 へ |
|-----------------|---------------|

→【問 12-1 は、問 12 で「1. ある」と回答した方のみお答えください。】

問 12-1 困っていると感じていることについて、差し支えない範囲でお書きください。

3 地域活動・ボランティア活動についてうかがいます。

問 17 あなたは、地域での活動（町内会や自治会・子ども会・老人クラブなどのお住まいの地域を対象とした活動）やボランティア活動（本アンケートでは自主的・自発的な無償の活動）に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 参加している ⇒問 17-1 へ

2. 参加していない ⇒問 17-2 へ

→【問 17-1 は、問 17 で「1. 参加している」と回答した方のみお答えください。】

問 17-1 あなたは、どのような活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 町内会・自治会活動（総会、定例会議など） | 9. 自然・環境保護に関する活動 |
| 2. 防災活動（避難訓練など） | 10. 人権・男女共同参画に関する活動 |
| 3. 交通安全・防犯活動（防犯パトロール、子どもの下校時のパトロールなど） | 11. スポーツや趣味・学習の活動（サークル活動、公民館等で開催される各種講座など） |
| 4. 清掃・美化活動 | 12. 地域交流・まちづくりに関する活動 |
| 5. 青少年の健全育成に関する活動 | 13. その他 |
| 6. 子育てに関する活動 | () |
| 7. 障がいのある人を支援する活動 | |
| 8. 高齢者を支援する活動 | |

→【問 17-2 は問 17 で「2. 参加していない」と回答した方のみお答えください。】

問 17-2 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 参加したい活動がない | 7. 家族の理解が得られない |
| 2. 活動の内容や参加方法がわからない | 8. 活動のための費用がない |
| 3. 仕事が忙しく、参加する時間が取れない | 9. 現在、ケガなどで体調を崩している |
| 4. 家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない | 10. 地域活動には参加したくない |
| 5. 障がい者や高齢者、病人などの介護が忙しく、参加する時間が取れない | 11. 他人とかかわりあいたくない |
| 6. ボランティア活動やNPO活動など、他に参加している活動がある | 12. 以前に不快な思いをしたことがある |
| | 13. 身近に一緒に参加する知り合いがいない |
| | 14. その他 |
| | () |

問 18 あなたは今後、地域活動やボランティア活動に参加（継続）したいと思いますか。
（1つに○）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. ぜひ参加（継続）したい | 3. あまり参加（継続）したいとは思わない |
| 2. できれば参加（継続）したい | 4. 参加（継続）したいとは思わない |

問 19 地域活動やボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 活動の内容を知らせる広報を充実する | 4. 資金面の援助を充実する |
| 2. 地域での学習・活動を調整する人材を育成する | 5. 学校での福祉教育を充実する |
| 3. 地域での学習・研修の機会や内容の充実を図る | 6. 地域の福祉の実態を町民に伝える |
| | 7. その他
() |

問 20 「江差町ボランティアセンター」^{※1}の活動について、知っていますか。（1つに○）

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 知っている | 3. 知らなかった |
| 2. 名前は聞いたことがあるが活動内容は知らなかった | |

※1 「江差町ボランティアセンター」

ボランティア活動をされる団体や個人の方を支援するため、江差町社会福祉協議会が運営を行っています。

4 災害時の対応についてうかがいます。

問 21 あなたは、地震や水害などの災害が発生した場合の避難場所を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 22 あなたの家では、災害が発生した場合に備えて、普段からどのような対策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの防災用品の備蓄 | 7. 避難場所・避難経路の確認 |
| 2. 食料や飲料水の備蓄 | 8. 家族との連絡方法を決めている |
| 3. 貴重品をすぐ持ち出せるように準備している | 9. ハザードマップなどの防災情報の確認 |
| 4. 非常持ち出し袋をすぐ持ち出せるよう準備している | 10. 防災訓練への参加 |
| 5. 家具や家電を固定するなどの転倒防止対策 | 11. その他
() |
| 6. 建物の耐震診断や耐震補強 | 12. 対策をしたいが何をしていたかわからない |
| | 13. 特に何もしていない |

問 23 あなたは、災害についての情報や知識はどのようにして得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 家族・友人・知人を通じて | 7. インターネット(町ホームページ以外) |
| 2. 福祉施設やケアマネジャー・ヘルパーなどを通じて | 8. スマートフォン・携帯電話などの災害情報通知 |
| 3. 民生委員・児童委員を通じて | 9. 気象・防災アプリ |
| 4. 新聞・テレビ・雑誌・ラジオ | 10. ハザードマップ |
| 5. 町の職員や役場窓口 | 11. その他
() |
| 6. 広報えさし・江差町ホームページ | 12. 情報の入手方法がわからない |

5 権利擁護についてうかがいます。

問 24 あなたは、児童や高齢者への虐待を知った場合に、町など公的機関に速やかに通報する義務が町民にあることをご存知でしたか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 25 あなたは、成年後見制度^{※2}についてどの程度ご存知ですか。(1つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 制度の存在と内容ともに知っている |
| 2. 制度の存在は知っているが、内容までは知らない |
| 3. 制度が存在することを知らなかった |

※2 「成年後見制度」

判断能力の不十分な方々（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が日常生活における不利益を受けないよう、本人の権利を守り支援する制度です。

問 26 あなたの判断能力が低下した時（認知症になった時など）、契約や金銭の管理をしてくれる人はいますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 町内にいる | 2. 町外にいる | 3. いない |
|----------|----------|--------|

問 27 あなたは、日常生活自立支援事業^{※3}についてどの程度ご存知ですか。(1つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 制度の存在と内容ともに知っている |
| 2. 制度の存在は知っているが、内容までは知らない |
| 3. 制度が存在することを知らなかった |

※3 「日常生活自立支援事業」

判断能力の不十分な方々（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が地域において自立した生活がおくれるよう、福祉サービスの利用手続きの援助や代行等を行う事業です。

6 ヤングケアラーについてうかがいます。

問 28 あなたは、ヤングケアラー※⁴についてどの程度ご存知ですか。(1つに○)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しい内容までは知らない
3. 知らなかった

※4 「ヤングケアラー」

法令上の定義はまだありませんが、厚生労働省が行った実態調査などでは、本来おとなが担うような家事、家族の介護や世話を日常的に行うことで、自らの育ちや教育に影響が出てしまっている主に18歳未満の子どもを指します。

問 29 現在、あなたの身の回りに、ヤングケアラーと思われる子どもはいますか。(1つに○)

1. いる
2. いない

問 30 あなたは、ヤングケアラーに必要な支援はどのようなものだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 困ったときに気軽に相談できる窓口 | 7. 家事、介護等の代行 |
| 2. 福祉サービスの利用に関する相談支援 | 8. 学校の勉強や受験などの学習サポート |
| 3. 家族の病気や障がいに関する相談支援 | 9. 地域の見守り体制の強化 |
| 4. 本人の進路や学習に関する相談支援 | 10. その他 |
| 5. ヤングケアラー同士の交流の場 | () |
| 6. ヤングケアラーについて、理解を深める機会の提供 | 11. 特にない・わからない |

7 民生委員・児童委員、社会福祉協議会についてうかがいます。

問 31 あなたは、民生委員・児童委員という名前や制度を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている ⇒問 31-1 へ

2. 知らない ⇒問 32 へ

→【問 31-1 は、問 31 で「1. 知っている」と回答した方のみにお聞きします。】

問 31-1 あなたのお住まいの地区の民生委員・児童委員の方が誰か知っていますか。(1つに○)

1. 知っている

2. 知らない

問 32 あなたは、江差町社会福祉協議会^{※5}を知っていますか。(1つに○)

1. 名前も活動も知っている

3. 名前も活動も知らない

2. 名前は知っているが活動は知らない

※5 「社会福祉協議会」

社会福祉協議会は、地域に根ざした福祉活動において、中核的な役割を担う団体として位置付けられています。身近な相談機関として、日常生活自立支援事業や成年後見制度の推進など地域福祉活動や民間活動を支援する機関として重要な役割を担い、江差町では老人福祉センター内にあります。

問 33 江差町社会福祉協議会に期待することはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域のつながりづくり

12. 高齢者事業団活動・運営の充実

2. 住民への地域福祉活動の啓発

13. 老人クラブの活性化

3. 地域福祉活動に係る資金の援助

14. 高齢者の見守り

4. 福祉サービスの情報提供

15. 障がい者支援の充実

5. 相談支援の充実

16. 日常生活自立支援（権利擁護）事業
や成年後見制度の充実

6. 研修会の実施

17. 生活困窮世帯への支援

7. 地域の情報収集・発信の支援

18. ひきこもりへの対策や支援

8. 赤い羽根共同募金を活用した民間福祉活動への支援

19. 災害ボランティア活動のコーディネート

9. ボランティア活動の機会・場所の確保

20. 生活福祉資金貸付制度の充実

10. 子どもの事業、子育てをする親への支援の充実

21. その他
()

11. 介護サービスの充実（ケアマネジメント、ホームヘルプサービス等）

22. 特にない・わからない

8 地域福祉の今後の取組についてうかがいます。

問 34 あなたは、江差町は地域福祉^{※6}の面から暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 暮らしやすいと思う | 3. あまり暮らしやすいとは思わない |
| 2. まあまあ暮らしやすいと思う | 4. 暮らしやすいとは思わない |

※6 「地域福祉」

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域住民や社会福祉関係者が互いに協力して、地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

問 35 地域福祉の基盤整備を進めていくために、重要だと思うことはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1. 自治会（町内会など）を基盤とした地域の支え合いの仕組みの再構築 | 6. 福祉サービスの質を評価（第三者評価）するための仕組みづくり |
| 2. ボランティアの育成と活動の促進 | 7. 利用者の苦情解決の仕組みづくり |
| 3. 高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 | 8. 福祉サービスに関する情報提供や案内のさらなる充実 |
| 4. 認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力に支障がある人の権利擁護・後見活動の充実 | 9. 人権が尊重され、人と人とのつながりを大切にするための仕組みづくり |
| 5. 福祉サービスの提供拠点及び施設の整備 | 10. 福祉教育の充実 |
| | 11. その他
() |
| | 12. 特にない・わからない |

問 36 誰もが安心して暮らせる地域にするために、あなたが重要と考える取組はどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1. 隣近所など、周囲の理解と協力による日常の見守りなどの支援を行う | 10. 安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる |
| 2. ボランティア団体など町民活動への援助を充実させる | 11. 手当など金銭的な援助を充実させる |
| 3. 高齢者や障がいのある人が地域で活動できる機会をつくる | 12. 福祉施設の整備・充実 |
| 4. 人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる | 13. 公営住宅の整備・充実 |
| 5. 健康や福祉についての情報提供を充実させる | 14. 交通の利便性の確保を進める |
| 6. 住民がお互いに助け合い支え合うまちづくりを進める（住民同士や行政との協力等） | 15. 道路の段差解消など、バリアフリー化を進める |
| 7. 健康づくりや生きがいが盛んなまちづくりをすすめる | 16. 災害を防ぐための取組や災害時に身近な地域で支え合う仕組みをつくる |
| 8. 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる | 17. 成年後見制度など、高齢者や障がい者の権利擁護の取組 |
| 9. 高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスを充実させる | 18. 生活困窮者・低所得者の自立支援、子どもの貧困対策の取組 |
| | 19. その他
() |
| | 20. 特にない |

問 37 江差町では地域福祉を充実させていく上で、自助・共助・互助・公助^{※7}の役割で活動する中で支え合い・助け合いを行っていくまちづくりを目指しています。地域福祉を充実させていく上で、行政と地域住民の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

1. 行政が責任をもって取り組むべきで、住民が協力する必要はない
2. 行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力すべきである
3. 家庭や地域住民で助け合い、困難な福祉課題は行政が援助すべきである
4. 住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである
5. わからない

※7 「自助・共助・互助・公助」

「自助」は自分でできることは自分です、「共助」は社会保障制度等を活用する、「互助」は地域などで互いに支え合う、「公助」は行政などの公的サービスを受けることです。少子高齢化が進む中、限られた財源で「共助」「公助」の大幅な拡充を期待することは難しくなっており、「自助」「互助」の果たす役割が大きくなることを意識した取組が必要と考えられています。

江差町の地域福祉に関する問題点と感じていることや、地域福祉の向上に向けて制度化してほしいことなどご意見がございましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。

江差町地域福祉計画策定委員会設置要綱

平成23年10月31日

要綱第9号

改正 平成28年9月30日告示第84号

改正 平成29年3月28日告示第21号

(設置)

第1条 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条の規定に基づき、江差町地域福祉計画（以下「計画」という。）を策定するため、江差町地域福祉計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 計画の策定、又は変更に関すること。
- (2) 計画の進捗状況の点検及び評価に関すること。
- (3) 総合的な地域福祉の推進に関すること。
- (4) その他計画の策定等に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 社会福祉事業の実施に関係のある者
- (2) 社会福祉関係団体の代表者
- (3) 民生委員児童委員
- (4) 教育に関係のある者
- (5) 関係行政機関の職員

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1名を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長はその議長となる。

2 委員会の議事は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

4 委員会は、会議に運営上必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、地域福祉に関する事項を所管する課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

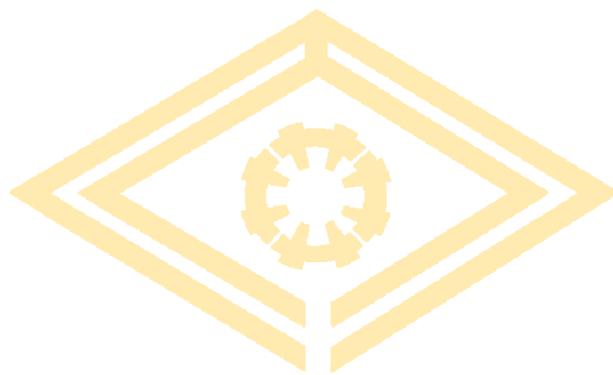
この要綱は、平成23年10月31日から施行する。

附 則

この告示は、平成28年10月1日から施行する。

附 則

この告示は、平成29年4月1日から施行する。



第5期江差町地域福祉計画【令和4年度～令和8年度】

発行／令和4年3月

江差町役場 町民福祉課福祉子育て係

〒043-8560 北海道檜山郡江差町字中歌町 193 番地 1

TEL (0139) 52-6720 FAX (0139) 52-5666

<http://www.hokkaido-esashi.jp/>